

平成29年度
事業報告書

社会福祉法人
新居浜市社会福祉協議会

目 次

1 地域福祉の充実	
(1) 小地域福祉活動事業	1
(2) 企画・広報事業	5
(3) ふれあい総合相談事業	7
(4) 生活福祉資金貸付事業	
(5) 母子父子家庭小口資金貸付事業	
(6) 福祉サービス利用援助事業	8
(7) 法人後見事業	
(8) 生活困窮者自立支援事業	
(9) 緊急食料等支援事業	9
(10) 共同募金配分事業	
(11) 民生児童委員協議会連携推進事業	10
(12) 福祉施設協議会運営事業	
(13) 地域福祉バス運行事業	11
(14) 地域福祉バス運行事業（別子校区）	
(15) 福祉用具貸与事業	
(16) 日本赤十字社愛媛県支部新居浜市地区運営事業	12
(17) 会員制度啓発推進事業	
(18) まごころ銀行の運営	
(19) 総合福祉センター（本館）管理運営事業	13
(20) 総合福祉センター（別子山分館）管理運営事業	14
(21) 地域包括支援センター協力機関業務（別子校区）	
(22) 生き生きデイサービス事業（別子校区）	
2 児童福祉の充実	
(1) 児童館運営事業	15
(2) 児童健全育成事業	17
(3) エンゼルヘルパー派遣事業	18
3 障がい者福祉の充実	
(1) 障がい者福祉センター運営事業	19
(2) 障がい者サロン事業	20
(3) 身体障害者在宅福祉対策事業	
(4) 相談支援事業	21
(5) 障がい者作業訓練所運営事業	22
(6) 生活介護・生活訓練事業	23
(7) 児童発達支援事業「はげみ園」	24
(8) 障害者居宅介護等事業	25
(9) 障害者等移動支援事業	26
4 高齢者福祉の充実	
(1) 独居高齢者見守り推進事業	27
(2) 高齢者福祉センター運営事業	
(3) 居宅介護支援事業	30
(4) 訪問介護事業	31
(5) 認知症対応型通所介護事業	32
(6) 訪問介護事業所連絡会運営事業	33
5 ボランティア活動の充実	
(1) 福祉ボランティア推進事業	34
(2) 災害ボランティアセンター設置運営事業	38
6 社会福祉協議会の運営の強化	
(1) 組織体制の整備・強化	39
(2) 財源の安定化	41
(3) 新居浜市社会福祉法人地域公益活動連絡会運営事業	

平成29年度 新居浜市社会福祉協議会 事業報告

概要

平成29年度は、人口減少が進行する中で、家庭における相互扶助機能の低下や地域住民相互のつながりの希薄化などにより、さまざまな生活のしづらさを抱えているにも関わらず、地域で孤立してしまい制度による支援に結びついていない人や、複合的かつ多様な問題を抱えているがゆえに、必要な支援につながっていない人の増加など、地域における福祉課題・生活課題が深刻化の様相を呈してまいりました。こうした地域生活課題に対して、新居浜市や民生児童委員をはじめとする地域の様々な関係機関・団体と連携し、解決を図るとともに、住民が主体的に予防機能を果たせるよう、小地域福祉活動の実践主体である社協支部活動の支援を行いました。また、支部連絡協議会の中に、活動の原資となる財源を確保するための専門部会を立ち上げました。

地域住民に対する個別支援としては、生活困窮者自立支援法に基づく「自立相談支援事業」において、関係機関と連携し積極的なアウトリーチによる、包括的な相談支援や生活支援を行いました。そのため、相談実績は飛躍的に増加するとともに、課題解決に向けた寄り添い同行支援や緊急食糧等支援事業による食料や生活物資などの現物支給を行うことで、世帯の自立の助長に資することができました。

また、社会福祉法改正による大きな論点であった経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化に関しては、実質的な動きのある年となり、新しい理事、評議員、監事等の選任により、法人の体制整備の充実・強化が図られました。さらに、「地域における公益的な取組」を実効あるものと設立された「社会福祉法人地域公益活動連絡会」では、社協支部と社会福祉法人が連携して取り組んだ事例や、最新情報等についての認識の共有化を行うことで、今後の事業化についての協議を継続しました。

さらに、防災活動に関しては、平成29年9月の台風18号による浸水被害を受けて、災害復旧のため「災害ボランティアセンター」を立ち上げ支援活動に取り組みました。この間の活動により、早期の災害実態把握による支援ニーズの調査やボランティアの確保、資材の確保、復旧活動のコーディネートなどの問題点について整理を行いました。

実施項目

1 地域福祉の充実

(1) 小地域福祉活動事業 14,481 千円 *人件費除く 独自事業

①社協支部活動推進事業

(ア) 社協支部拠点整備

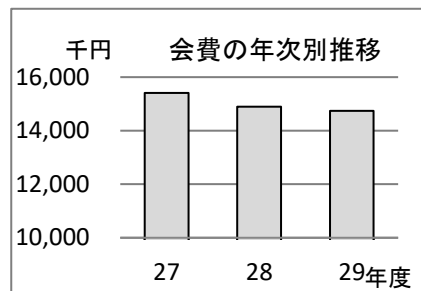
住民が地域福祉活動に参加、活動しやすい環境をつくるため、支部役員の資質向上と、先進地の取り組みなどについて協議、研修を行いました。住民が気軽に集える場づくりや社協支部の事務拠点整備のため公民館等と連携を図り、支部活動を推進しました。

(イ) 社協支部の財源確保

社協支部の安定した財源確保のため、会員の継続加入について広報するとともに、支部の活動情報を社協だよりに掲載することで、広報啓発に努めました。社協特別会員会費及び法人会員会費の全額、住民会員会費の半額を助成し、社協支部の財源確保を行いました。また支部連絡協議会の中に、財源を総合的に検討する専門部会を立ち上げました。

・社協会費実績 円

区分	年会費	口数	金額
住民会員	100	31,014	3,101,400
特別会員	1,000	10,309	10,309,292
構成組織団体会員	5,000	83	415,000
法人会員	10,000	92	920,000
合計		41,498	14,745,692



(ウ) 社協支部組織体制の強化

社協支部役員の資質向上と人材確保を図るため、支部役職別研修を実施しました。平成29年度も会計研修を実施し、地域住民にわかりやすい会計報告及び事業報告のあり方について意識統一を図りました。また、広報研修を実施し、読みやすい支部だよりの作成について研修を行いました。その他にも、社協に関する認識と理解を深め、さらなる地域福祉活動の推進を目指して支部役員初任者研修や支部全体研修会を開催しました。

・支部全体研修会

開催日	場所	出席者数	内容
8月30日	総合福祉センター	150	地域課題の中で、今年は子どもの貧困や孤食に関して研修を行うこととした。 講義：つながるきっかけ作りとしての子ども食堂 ～共同体の持つ力を信じて～ 講師：新居浜子ども食堂 共同代表 広瀬 香織 氏 藤田 亜矢子 氏
	合計	150	
	28年度	294	ブロック研修(3地域に分かれて)

・先進地視察研修

日時 平成29年11月16日(木)～17日(金)
研修先 和歌山県和歌山市社会福祉協議会
内容 生活支援体制整備事業について
参加者 支部長 15人(代理含む)

・支部役員初任者研修会

日時 平成29年6月30日(金)
場所 新居浜市総合福祉センター 第1研修室
内容 市社協・社協支部の組織・役割・財源・事業等について
参加者 支部長及び支部役員、社協職員 33人

・支部役員役職別(広報)研修会

日時 平成29年9月29日(金)
場所 新居浜市総合福祉センター 第1研修室
内容 「読みやすい広報誌の作り方」について
参加者 支部長及び支部役員、社協職員 36人

・支部役員役職別(会計)研修会

日時 平成30年2月2日(金)
場所 新居浜市総合福祉センター 第1研修室
内容 収支決算書・収支予算書と事業報告のあり方について
参加者 支部長及び支部役員 29人

(エ) 社協支部支援事業

各支部の諸会議や各種イベントに積極的に参加して交流と連携を図りました。また見守り連絡会や地域ケアネットワークに参加し、地域課題の把握や見守り体制の充実強化に努めました。住民主体活動として角野や泉川校区の「見守り・SOSネットワーク協議会」に積極的に参加し、活動支援を行いました。また、大生院支部が進める地域交流食堂の実施にむけて、実行委員会等に参加するなど、地域の福祉活動への協力支援を行いました。

・社協支部連絡協議会の開催

回	開催日	出席者	議案
1	4月12日	18	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告について 平成29年度事業計画について 平成29年度社協会員の加入について 平成29年度社協支部運営助成金について ほか
2	6月14日	18	<ul style="list-style-type: none"> 支部長の異動について 平成28年度地域福祉力向上事業について 平成29年度支部役員初任者研修会について 平成29年度見守り推進員全体研修について 平成29年度支部全体研修会について ほか
3	9月13日	16	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉大会・生き生き幸せフェスティバルについて 第65回愛媛県社会福祉大会について 平成29年度共同募金運動について 平成29年度支部全体研修・広報研修等について 見守り推進員の推薦・人材確保のあり方について(意見交換)
4	11月8日	16	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度支部先進地研修について 社協支部運営助成金(12月分)交付申請について 平成29年度歳末たすけあい事業について 独居高齢者一覧表について ほか 支部アンケート結果について 補助金等の要望について ほか
5	1月10日	17	<ul style="list-style-type: none"> 新居浜市社会福祉大会について 平成29年度支部先進地研修について(報告) 共同募金・歳末たすけあい事業について 平成29年度支部役職別(会計)研修会について サロン指導者講習会 ほか
6	3月14日	16	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画(案)について 新居浜市独居高齢者見守り推進事業委託契約について 社協優良ボランティア表彰について ほか

・支部活動への職員の参画、派遣状況

内 容	職員派遣回数
総会	18
役員会・理事会・代表者会等	10
地域ケアネットワーク推進協議会	24
独居高齢者見守り推進連絡会	28
支部交換研修	0
先進地視察研修	2
各種イベント	10
サロン活動支援(高齢者・子育て)	14
民協・自治会定例会(見守り、特別会員加入等)	22
その他	22
合計	150

②大島校区・別子校区地域福祉活動支援事業

大島校区・別子校区における地域課題の解決に向けて、定期的に訪問を行い、組織体制や生活支援のあり方について地域住民と対話を行いました。別子校区では、地域ケアネットワーク推進協議会において、見守り体制の充実や関係機関の連携が図られるように支援しました。大島校区では、支部活動の充実と地域連携促進のため、地域資源を調査し、関係機関と協議を行いました。

・別子校区地域ケアネットワーク推進協議会状況

回数	参加者数	活動内容
12	156	別子山地域に居住している高齢者の情報共有、見守り推進員および民生児童委員の活動報告、地域包括ケアネットワークにおける広域的かつ多職種との連携など

③サロン支援事業

サロンの内容の充実と普及を図るため、指導者向けの講習会などの支援を行い人材育成を行いました。

・サロン指導者講習会

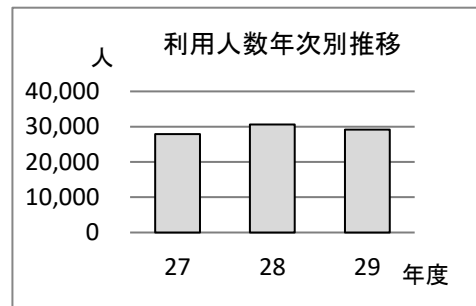
開催日	場所	参加者数	内容
2月20日	上部高齢者福祉センター	47	パステルアート
2月22日	川東高齢者福祉センター	52	風呂敷の利用法
3月1日	川西高齢者福祉センター	47	吹き絵

・社協支部が実施するサロンへの支援状況

回数	派遣職員数	支部数	場所	内容
23	31	8	マリンパーク 公民館他	子育てサロン 合同ミニ運動会行事等

・ふれあい・いきいきサロン事業

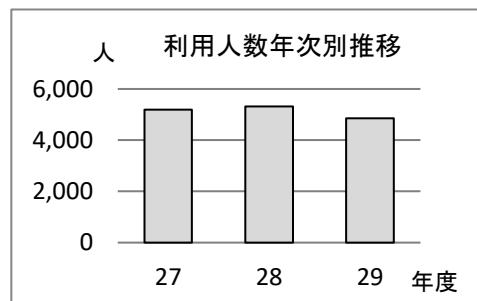
実施支部数	サロン数	回数	利用人数	平均人数
17	90	1,599	29,142	18.2



・子育てサロン事業

平成29年度は1支部で子育てサロンが再始動し、利用希望者への対応もできました。主任児童委員をはじめ地域福祉関係者の参加・協力を得るとともに児童センター（館）と連携して、親子あそび、季節行事等をはじめ様々な催しを開催し、地域ぐるみの子育て支援を行いました。

実施支部数	サロン数	回数	利用人数	平均人数
16	16	185	4,858	26.3



(2) 企画・広報事業

4,615 千円

独自事業

①愛媛県社会福祉大会参加

平成29年度も民生児童委員、支部関係者、ボランティアや市民団体役員の方々の多数の参加をいただきました。また、今年度は民生委員制度創設100周年記念大会にあたり、住民に最も身近な民生委員・児童委員の永年に亘る功績を顕彰し、地域福祉のさらなる充実と意識高揚につながりました。

・第65回愛媛県社会福祉大会

開催日時 平成29年10月12日（木） 午後1時00分～3時15分
 開催場所 ひめぎんホール「メインホール」
 参加者 169名
 内容 式典、表彰 他
 映画上映 「ふうせん ふふふ、そら ららら」
 てい談 「復興への願いを花に託して」
 アイリンブループロジェクト実行委員会代表 すがわら じゅんいち氏
 愛媛県民生児童委員協議会 副会長 石井 孝允氏
 (有)タグプロダクト 取締役/パーソナリティ やのひろみ氏 (コーディネーター)

②新居浜市社会福祉大会・生き生き幸せフェスティバル開催

フェスティバルは、国体による日程変更にも関わらず、参加団体の協力により、例年通りの出展数と多くの来場者を得て盛大に開催できました。今年度は、アトラクションとして、浜っ鼓★弾★DANによるよさこい演舞、トランペット奏者による街角コンサート、バルーンアートのパフォーマンスなどを実施しご来場の方々の好評を得ることができました。福祉大会では、アンケートの結果を考慮するなどして市民・関係団体に広報を行い、二部制の講演内容も好評でした。

・第22回生き生き幸せフェスティバル・ボランティアフェスティバル

開催日時 平成29年11月26日（日）午前9時30分～午後2時30分
 開催場所 新居浜市総合福祉センター
 参加者 約3,500人
 内容 オープニングセレモニー 各種イベント

・第36回新居浜市社会福祉大会

開催日時 平成29年12月2日（土）午前9時30分～12時15分
開催場所 市民文化センター中ホール
参加者 約450人
内容 式典 表彰、体験発表
記念講演① 演題 「津軽三味線と唄で楽しむ故郷の心」
講師 来世楽 氏
記念講演② 演題 「お笑いで福祉の町づくり」
講師 笑福亭 学光 氏

③新居浜を明るくする運動推進事業

犯罪や非行のない安全・安心な地域社会づくりを目的として、保護司会、更生保護女性会等関係機関と連携し、運動を展開しました。

・第54回社会を明るくする運動大会

開催日時 平成29年7月1日（土） 午前9時30分～11時50分
開催場所 市民文化センター中ホール
参加者 約500人
式典 表彰、優秀作文・標語発表
記念講演 演題 「助けてと言える社会へ～いのちが分断される時代に～」
講師 NPO法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏

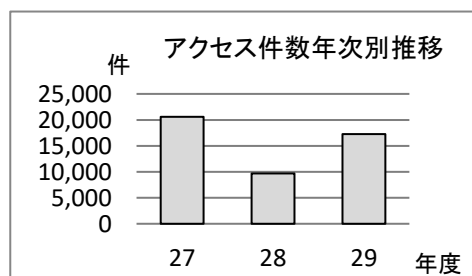
④社協だより発行

「にいほま社協だより」を年6回（奇数月、1回あたり約42,000部）発行し、福祉に関する幅広い情報提供を行いました。身近な地域で活動している社協支部を毎号3支部紹介する「支部だより」や運営施設等での実施事業を報告をする「ひととき」において社協を理解してもらえるようPRに努めました。また、表紙には、その時々々の社会福祉状況や、社協の節目となるイベントや事業内容を掲載し、広報活動に努めました。

⑤ホームページ運営

トップページの写真を毎月更新し、社協事務局からの新着情報や支部活動などを掲載して、市民に向けて最新の幅広い情報提供を行いました。また新着情報において、イベントなどのリアルタイムな情報を提供しました。

アドレス	アクセス件数
http://www.n-syakyo.jp/	17,251



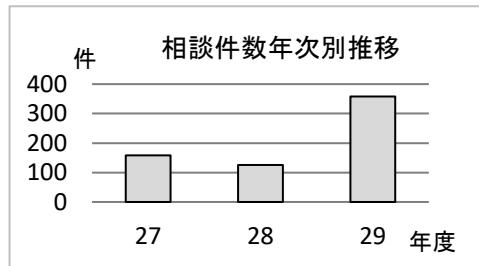
(3) 暮らしの総合相談・支援事業

247 千円

独自事業

生活困窮者自立相談支援センターの相談支援員が中心となり、あらゆる生活課題に対応するというスタンスに立って相談を受け付けました。また、登記、遺言、年金等については専門機関による専門相談を行い、相談者が抱えている問題の解決や悩み等の解消に努めました。

相談内容	相談員	相談日	開設日	件数
一般相談	自立相談支援員	毎日	244	310
登記、遺言、土地家屋調査相談	公証人、司法書士、土地家屋調査士	毎月1回	12	41
社会保険相談	社会保険労務士	毎月1回	12	3
精神障がい者家族相談	新居浜家族会会員	毎月1～2回	15	4
		合計	283	358



(4) 生活福祉資金貸付事業

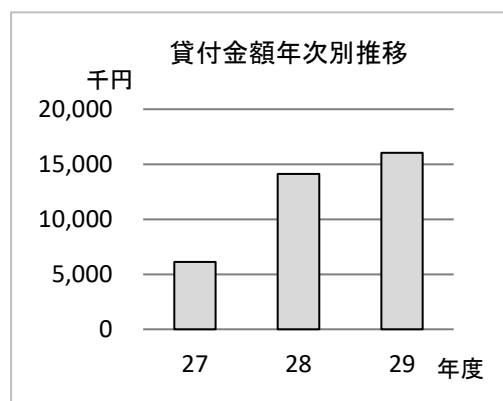
6,723 千円

県社協委託事業

低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯を経済的に支え、安定した生活を支援し、貸付後も安定した生活が送れるよう、世帯状況の把握や償還指導等行いました。また、民生児童委員やその他関係機関との連携体制の強化にも努めました。

・生活福祉資金

資金の種類	貸付件数	貸付金額(円)
1 総合支援資金	0	0
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
2 福祉資金	65	7,520,000
福祉費	12	3,607,000
緊急小口資金	53	3,913,000
3 教育支援資金	9	8,515,000
4 不動産担保型資金	0	0
合計	74	16,035,000



・臨時特例つなぎ資金貸付業務

離職し住居も無い方に、公的給付や貸付開始までのつなぎ資金を貸し付ける制度です。平成29年度は1件貸付申請がありました。

申請件数	貸付件数	貸付金額(円)
1	1	50,000

(5) 母子父子家庭小口資金貸付事業

独自事業

平成23年度末で新居浜市からの委託業務が終了したため、残務処理及び滞納世帯に対する償還金の相談指導等を行いました。

償還件数	償還金額(円)	償還完了件数
6	25,280	0

(6) 福祉サービス利用援助事業

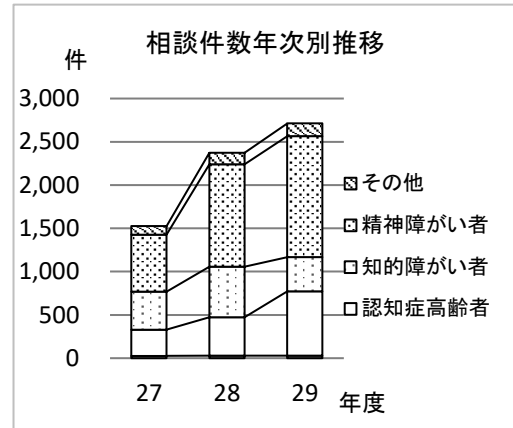
5,514 千円

県社協委託事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など自分の判断に不安を感じている方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用に関する相談や手続きの代行、日常的な金銭管理等の援助を行いました。また、関係機関と連携し、事業説明を行うなど事業の啓発に努めました。

・相談、連絡状況

区分	延件数	初回相談の紹介元
認知症高齢者	743	介護支援専門員9、 行政6、本人1、 相談支援事業所5 自立支援相談センター1
知的障がい者	395	
精神障がい者	1,398	
その他	147	
合計	2,683	



・契約状況 (平成30年3月31日現在)

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
契約者数	15	9	25	4	53

(7) 法人後見事業

1,946 千円

独自事業

本年度新たに2件（後見1件、保佐1件）を受任し、計7名の被後見人等の身上監護及び財産管理等を適正に行いました。関係機関と連携しながら、被後見人の年金受給手続きや、相続関係の手続き、死亡した被後見人の死亡後事務、相続人への引き渡しを行いました。

・受任状況 (平成30年3月31日現在)

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
受任者数	1	3	3	7
終了者数	1	0	0	1

区分	後見	保佐	補助	合計
受任者数	6	1	0	7
終了者数	1	0	0	1

(8) 生活困窮者自立支援事業

17,494 千円

市委託事業

経済的な問題のみならず複合的な課題を抱える相談者に対し、関係機関と連携し包括的な相談支援及び生活支援を行いました。また、積極的にアウトリーチを実施し、ハローワークや行政機関等へ同行するなど相談者に寄り添った支援を行いました。

広報活動においては、事業が広く住民に認知され、当事者や関係者から早期に相談が寄せられるよう、地域ケアネットワーク推進協議会をはじめ、関係機関への事業説明や事例紹介を多方面で行いました。関係機関との信頼関係の構築により、自立相談支援センターを中心とする相談支援のネットワーク拡充が図られました。

・相談実績

	新規相談件数	プラン作成	就労者数	総相談件数
27年度	70	1	0	179
28年度	191	47	4	439
29年度	310	50	16	3,593

(9) 緊急食料等支援事業

7 千円

独自事業

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者及びその世帯に属する者など、緊急的かつ一時的に支援が必要な生活困窮者に対し、食料等の生活に必要な現物を支給することにより、自立した生活を送れるよう支援しました。

・緊急食料等支援実績（新規事業）

	支援世帯数	支援人数	支援金額 (社協財源)	支援金額 (関係機関)
29年度	63	100	6,543円	287,630円

※関係機関からの支援金額は概算

・レンタサイクル支援実績（新規事業）

	支援世帯数	支援人数	就労者数
29年度	7	7	1

(10) 共同募金配分事業

5,938 千円

独自事業

募金増額のため、昨年度の「共同募金検討委員会」での検討結果を踏まえ、平成29年度は新たに、結団式の開催や一斉街頭募金、学生ボランティアによる街頭募金などを実施するとともに、職域募金などの促進を図りました。

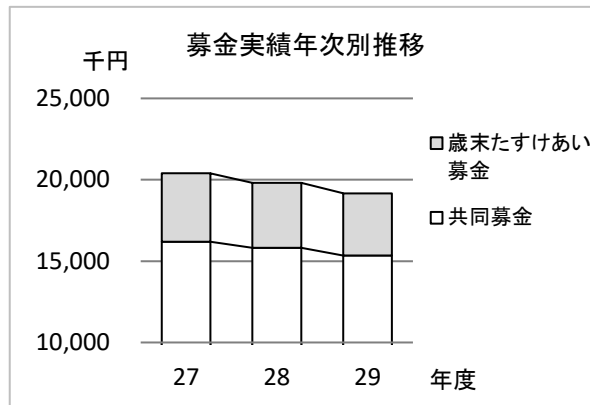
愛媛県共同募金会から送金される地域配分金について、適正かつ効果的な運用が行われるよう配分を行いました。配分先の各団体よりありがとうメッセージや写真で報告を受け、ホームページ、「はねっと」等を活用して、共同募金の使途を明瞭にするなど市民への周知と啓発を行い、共同募金運動の推進に努めました。また、配分先の団体から2団体を選出し、運営委員会にて事業報告を行っていただきました。

・募金実績

募金種別	共同募金	歳末 たすけあい募金
期間	10/1~3/31	12/1~12/31
目標金額	17,782,000	4,216,000
募金金額	15,342,735	3,826,175

・配分実績

募金種別	共同募金	歳末 たすけあい募金
配分団体・事業数	30	18
配分金額	8,045,347	3,808,900



・災害等準備金の取崩配分

愛媛県共同募金会として、大規模災害が発生した際に迅速に対応できるよう積立を行っていますが、一定の積立額を超過した分については取り崩して「地域福祉特別事業配分」として各市町に配分しています。取崩配分の用途については次のとおりです。

事業名	金額	品名(数量)
平成25年度災害準備金取崩 地域福祉推進特別事業 (安心安全なまちづくり) 防災器具等整備	766,840	真空パック毛布(100枚)
		簡易トイレ(100回分×2セット)
		非常用液体ろうソク(30個)
		血圧計(5台)
		LED投光器(3台)
		投光器用三脚(3台)
		ハンズフリーメガホン(5台)
		ヘルメット(18個)
		ノーパンク車椅子(1台)
		対流型石油ストーブ(2台)
		マルチキャリー(1台)
		耐震ゲルシート(50枚×5セット)
		蛍光灯カバー(10枚×7セット)
合計	766,840	地域配分760,000円、自己資金6,840円

・災害援護事業実績

対象世帯数	見舞金額
4	100,000

(11) 民生児童委員協議会連携推進事業

独自事業

民生児童委員協議会の各種会議や研修会への参加・協力を引き続き行い、連携を強化しました。平成29年度は、民生制度創設100周年記念事業にも協力しました。

区分	総会	三役会	理事会	研修会	就退任式
参加回数	1	12	12	0	

(12) 福祉施設協議会運営事業

12 千円

独自事業

年3回の定例会を開催し、各施設の情報交換や相互連携に努めました。また、施設職員を対象に研修会を実施し、関係職員相互との連携と資質向上を図りました。また、市役所ロビーと総合福祉センターで実施しているウェルフェアバザールについて支援を行いました。平成29年度、ウェルフェアバザールは、国体及び障がい者スポーツ大会においても出店を行いました。

	協議会	研修会	施設研修	ウェルフェア会議
実施回数	3	2	1(再掲)	6
参加人数	65	33	19(再掲)	65

(13) 地域福祉バス運行事業

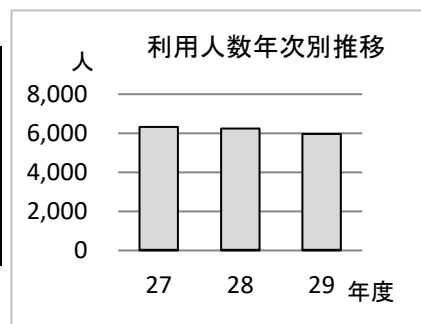
4,541 千円

補助事業

高齢者福祉センターの利用者の送迎を行うとともに、福祉団体の研修等に有効利用されました。予約に際しては、適正かつ平等な運営を行いました。また、定期コースに於いては安全運行のため、ルート及び時間の確認を徹底すると共に、随時利用者への対応を行いました。

譲渡によりバスの増車が実現したため、平成30年度からの2台運行を見据えて、運行申請書の行程内容の確認を徹底し、運転手との情報の共有、運転手勤務時間や勤務内容の把握、バス車体の修繕等にも対応しました。併せて、全ての登録団体にバス2台運行の案内と登録更新を通知し、整備しました。

運行区分	利用施設	回数	人数
定期コース	川西・川東・上部高齢者福祉センター	146	1,784
ミニデイサービス	川西・川東・上部高齢者福祉センター	36	480
福祉団体等	市内運行	23	474
	市外運行	166	3,195
合計		371	5,933



(14) 地域福祉バス運行事業 (別子校区)

782 千円

補助事業

生き生きデイサービス利用者の送迎と、公民館事業等への住民の社会参加を促進して地域活動の活性化を図るため、福祉バスを運行しました。

・定期運行

生き生きデイサービスを利用する高齢者の送迎をはじめ、地域住民の社会参加促進等を目的として運行しました。

・臨時運行

公民館事業や産業文化祭等の送迎に運行しました。

運行実績 (別子山)

	定期	生き生きデイ	団体他	合計
回数	25	24	9	58
人数	42	198	102	342

(15) 福祉用具貸与事業

独自事業

定期的に整備点検をして、3カ月の貸出期間を周知徹底し管理することにより、多くの市民の方に必要な時期に貸出を行いました。また、学校などにも貸出を行い、車椅子による移動体験を通して福祉教育の推進を図りました。また、公民館などで行われた市民の防災教育にも貸出をしました。平成29年度も福祉用具事業主や個人の善意により5台の車椅子の寄贈を受けました。貸与を希望される方々のニーズに合わせた貸出と提案を行いました。

貸与実績

延貸出台数	313
-------	-----

(16) 日本赤十字社愛媛県支部新居浜市地区運営事業

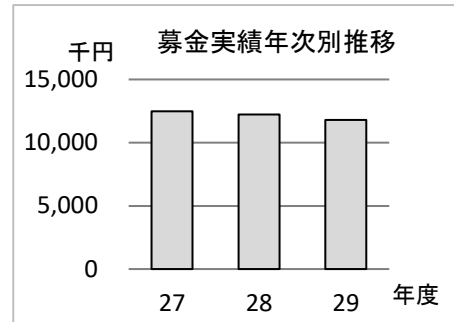
1,824 千円

委託事業

赤十字活動の周知、社員の増員に努めました。また、火災等で被災された世帯への見舞、企業等への救急法講習会並びに養成講習を開催しました。

・募金実績

期間	5/1~6/30
目標金額	16,504,000
募金金額	11,789,455



・災害援護事業実績

対象世帯数	対象被災者数	弔慰金額	毛布配布数	日用品セット配布数
3	7	40,000	6	3

・赤十字講習会等事業実績 (受講者数)

救急法講習	健康生活支援講習	幼児安全法講習	巡回健康講座	ひだまり赤十字	救急法養成及び基礎講習	幼児安全法支援員養成講習	高松市多肥校区日赤奉仕団交流会
304	20	20	63	45	18	14	48

※ひだまり赤十字・・・健康に関するサロン

(17) 会員制度啓発推進事業

391 千円

独自事業

会員の適正な管理運営を図るとともに、各支部からの会員加入促進に向けた要望に対し柔軟に対応し、会員制度の啓発に努めました。

(会費実績については1ページ(1)小地域福祉活動事業(イ)社協支部の財源確保に掲載)

(18) まごころ銀行の運営

383 千円

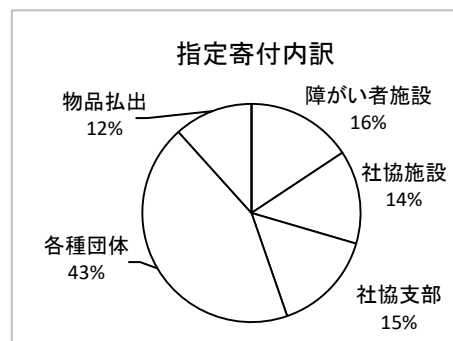
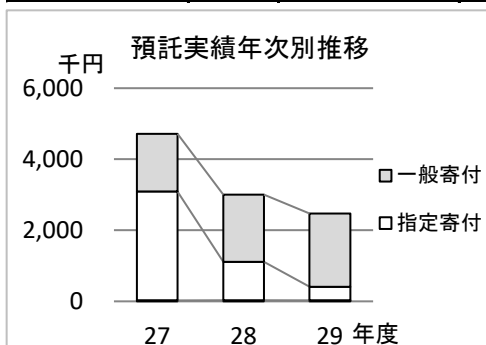
独自事業

寄付金品を預かり、福祉サービス等の各種事業へ活用するとともに、指定された福祉施設・団体等への指定寄付払出を行いました。

①預託状況

預託内容	件数	金額	(内) 指定寄付払出分	
			件数	金額
一般寄付	63	1,703,933	17	218,000
香典返し	6	740,000	2	120,000
物品寄付	7	—	3	44,614
合計	76	2,443,933	22	382,614

(一般指定寄付のうちの物品購入払出分)



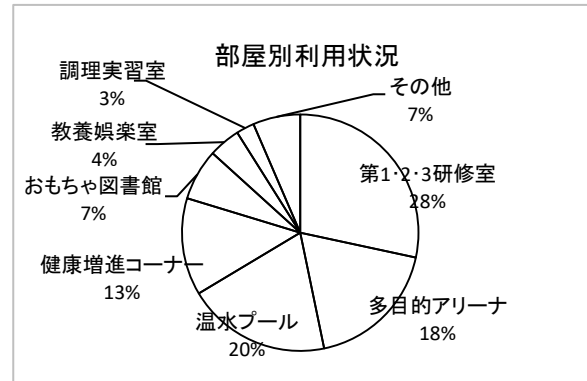
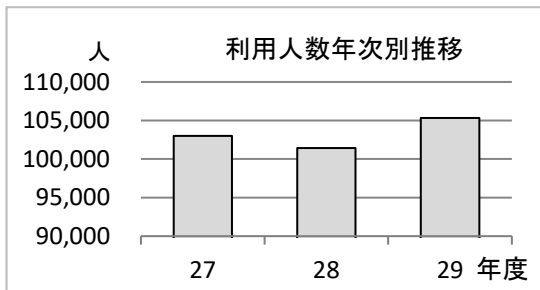
安心、安全な施設運営と地域の福祉の拠点施設として、情報の提供を総合的に行い、施設利用の利便性向上に努めました。またホームページでの予約状況の広報などを継続的に実施いたしました。

施設管理においては、省エネルギー化を図り、継続的な電気使用量の環境負荷の軽減努力を行い、使用量の削減を実行しました。また、利用者の利便性や、施設設備の老朽化に対応して、新居浜市と連携しながら緊急修繕や計画的な大規模修繕を行いました。

消防訓練を実施するとともに、県とも連携し地震及び津波の防災訓練を行いました。

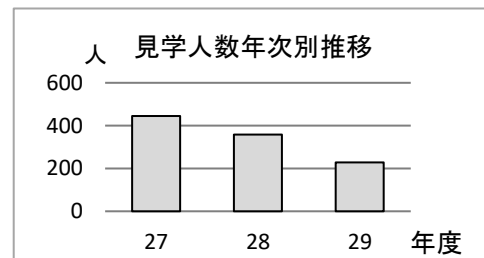
・運営状況

開館日	利用人数	一日利用人数
344	105,309	306.1



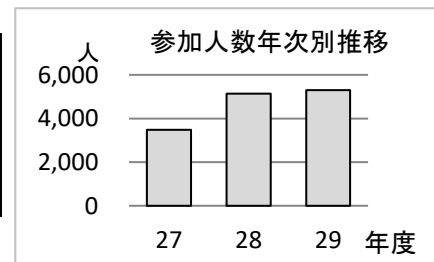
・視察、見学

回数	対象	見学人数
8	小学校7、他1団体	229



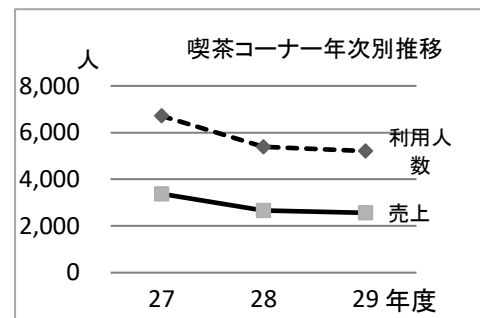
・高齢者体操教室の開催

内容	開催日	開催回数	参加人数
ふれあい健康体操4クラス	毎週木曜日	41	5,009
水中健康体操	毎月第2・隔月第4火曜日	16	293
合計		57	5,302



・喫茶～Lian～の委託運営

営業日数	利用人数	売上金額	前年度売上金額
240	5,208	2,562,434	2,662,656

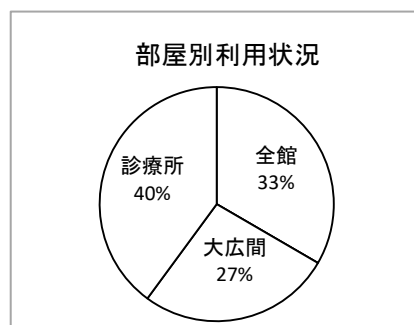
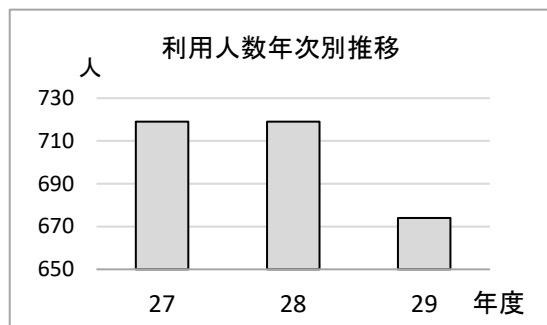


(20) 総合福祉センター（別子山分館）管理運営事業 12,815 千円 指定管理事業

「社協がふるさとを守ります～別子校区で誰もが安心して暮らし続けるために～」を施設運営のテーマとして、適切な管理運営を行ない、公共性・公益性の高い民間非営利団体という、社協の特性を活かし山間部のニーズに応じたサービスの提供に努めました。

・運営状況

開館日	利用人数	一日利用人数
244	674	2.8



(参考) 新居浜市医師会別子山診療所

診療日 (内科) 第3週目を除く毎週木曜日 (外科) 第3週目の木曜日

診療時間 午後2時～午後4時

診療日数	受診者数	1日利用人数
50	269	5.4

(21) 地域包括支援センター協力機関業務（別子校区） 1,206 千円 市委託事業

高齢者のいる世帯の状況を把握することに努めました。また地域ケアネットワーク推進協議会を毎月1回開催し、多職種連携の基盤づくり等を行いました。

・地域ケアネットワーク推進協議会状況

回数	参加者数	内容
12	156	別子山地域に居住している高齢者の情報共有、見守り推進員および民生児童委員の活動報告、地域包括支援ネットワークにおける広域的かつ多職種との連携など

・事業実績

	相談実績	見守り
延件数	31	329

(22) 生き生きデイサービス事業（別子校区） 904 千円 市委託事業

高齢者の生きがい及び社会参加を促進するため事業（バイタルチェック、健康体操、入浴、レクリエーション、創作活動）を毎月2回実施し、心身機能の維持向上、自立生活の助長等を図りました。

・開所日 毎月2回（第2、第4木曜日 午前10時～午後3時）

開所 日数	性別		合計	1日利用 平均人数
	男性	女性		
24	7	219	226	9.4

2 児童福祉の充実

(1) 児童館運営事業

74,782 千円

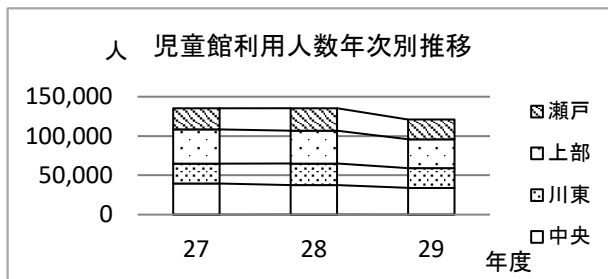
指定管理事業

①一般来館児童対象事業

一般来館児童への遊びの指導や援助、季節に応じた行事を開催しました。

・施設利用状況

区分	一般利用			放課後 児童クラブ	登録ク ラブ	地域活動 クラブ	合計	開館 日数	1日平 均人数
	幼児	児童	大人						
中央	10,560	8,598	10,271	0	4,618	0	34,047	293	116.2
川東	6,366	7,531	6,244	1,944	2,927	37	25,049	293	85.5
上部	7,767	9,444	7,907	8,676	2,953	0	36,747	292	125.8
瀬戸	7,103	7,825	6,966	0	3,101	100	25,095	293	85.6
合計	31,796	33,398	31,388	10,620	13,599	137	120,938	1,171	103.3



・あそびの広場実施状況

一般来館児童を対象に週に一度、異年齢で集団遊びや制作等を行う「あそびの広場」を実施し、子ども達に連帯感や仲間意識を育てることに努めました。

区分	回数	参加人数	平均人数
中央	36	396	11.0
川東	41	309	7.5
上部	41	757	18.5
瀬戸	42	337	8.0
合計	160	1,799	11.2
28年度	160	1,994	12.5
比較	100.0%	90.2%	90.2%

②クラブ活動

年齢に応じたクラブを年間通して実施しました。募集については、館だよりや市政だよりにてクラブ員を募集し定員に満たない時は12月まで随時受付ました。

(ア) 2・3歳児親子クラブ

いろいろな遊びを通して親子のふれあいを深め、また、お母さん達のグループ活動を実施し仲間づくりの支援を行いました。

・2歳児

区分	回数	参加人数	平均人数
中央	96	2,520	26.3
川東	62	917	14.8
上部	61	1,481	24.3
瀬戸	59	1,383	23.4
合計	278	6,301	22.7
28年度	305	7,385	24.2
比較	91.1%	85.3%	93.6%

・3歳児

区分	回数	参加人数	平均人数
中央	30	629	21.0
川東	30	730	24.3
上部			
瀬戸			
合計	60	1,359	22.7
28年度	59	792	13.4
比較	101.7%	171.6%	168.7%

(イ) 幼児・小学生体育工作クラブ

・幼児体育工作クラブ

4歳以上の未就学児を対象に、地域における幼児同士の集団遊びの場を提供するとともに、体力増進活動や創作活動を通し子どもの発達を支援しました。

区分	回数	参加人数	1クラブ平均人数
中央	60	838	14.0
川東	60	631	10.5
上部	61	674	11.0
瀬戸	60	800	13.3
合計	241	2,943	12.2
28年度	262	3,630	13.9
比較	92.0%	81.1%	88.1%

・小学生体育工作クラブ実施状況

小学1年生から3年生の児童を対象に、学校や家庭で体験できない集団遊びや体育工作活動を通し、子どもの体力増進や創作意欲増進を図れるよう支援しました。

区分	回数	参加人数	1クラブ平均人数
中央	31	557	18.0
川東	31	520	16.8
上部	30	557	18.6
瀬戸	31	540	17.4
合計	123	2,174	17.7
28年度	120	2,036	17.0
比較	102.5%	106.8%	104.2%

(ウ) ジュニアリーダークラブ

地域の小学4年生から6年生児童を対象に、子どものリーダーとしての自覚を養うことを目的に、児童センター（館）行事の手伝いや奉仕活動などを通し、責任ある行動のとれる児童を育成しました。

区分	回数	参加人数	1クラブ平均人数
中央	22	74	3.4
川東	22	129	5.9
上部	23	241	10.5
瀬戸	26	378	14.5
合計	93	822	8.8
28年度	90	693	7.7
比較	103.3%	118.6%	114.8%

③サークル活動

0歳から2歳の乳幼児親子を対象に親子のきずなを深める活動や、お母さん同士の仲間づくりの支援を行いました。

館だより、サークルだよりにより活動内容を紹介し、各館に全館のサークルだよりを掲示し、保健センター、新居浜市子育て支援課へサークルだよりを配布し、事業の広報に努めました。

区分	回数	参加人数	1サークル平均人数
中央	92	1,402	15.2
川東	64	868	13.6
上部	94	1,172	12.5
瀬戸	54	782	14.5
合計	304	4,224	13.9
28年度	301	5,196	17.3
比較	101.0%	81.3%	80.5%

④地域組織活動の育成

児童館を拠点に活動している地域活動クラブやボランティアグループへの会員の勧誘や活動の協力をしました。

実施回数	実施人数	内容
20	88	行事の協力・部屋の提供等

⑤児童健全育成相談事業

お母さん方が相談しやすいような雰囲気づくりに努め、日常的な子育ての不安や悩み等の相談に応じました。また、相談内容によっては、専門機関と連携し対応しました。

個別相談件数	内容
21	発達、食事、就学、学校生活、クラブでの子どもの様子について等

⑥子どもボランティア育成支援活動

ボランティア活動を通して、ボランティアの意識の向上と人材育成を行うため、児童館で実施する行事へ継続的にボランティアの受け入れを行いました。

実施回数	受入人数	内容
48	737	行事の手伝い、奉仕作業、募金活動、高齢者施設への訪問

⑦豊かな文化の伝達や児童文化の提供

高齢者施設への訪問等を行うなど高齢者との交流の機会の提供や、けん玉やお手玉等の昔からある遊びの指導を行いました。また、児童用図書の整備を継続的に行うことで、児童文化を提供しました。

実施回数	参加人数	内容
328	7,113	登録クラブやサークルでの昔あそびやわらべうた、昔あそびの行事、伝統行事、けん玉、べいごま、お手玉等の指導等

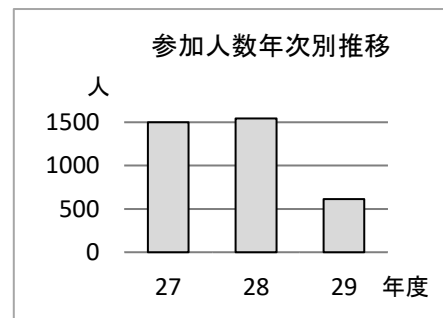
(2) 児童健全育成事業 374 千円 独自事業

①いはいまやんちゃKIDSの実施

地域ぐるみで健全育成を図るため、関係機関や団体の協力を得て、児童館4館合同でイベントを実施しました。またイベントを通して児童館活動をPRしました。

日時 平成29年10月29日（日） 10時～13時30分
 場所 新居浜市山根総合体育館
 協力者 主任児童委員、おもちゃ図書館きしゃポッポ、瀬戸児童館地域活動クラブ、市内県立高等学校、新居浜工業高等専門学校、たまごとダエンの積み木の会、総合科学博物館友の会科学クラブ、新居浜おもちゃ病院、えひめこどもの城、新居浜まちゆり隊、愛媛県総合科学博物館、愛媛県VYS連合協議会

区分	幼児	児童		大人	合計
		小学生	中高生		
参加者	160	88	203	451	
ボランティア	0	110	52	162	
合計	160	0	110	255	613



②出前児童館の実施

出前児童館の依頼のあった団体に対し、様々なあそびの提供や指導を行い、地域の余暇活動の支援を行いました。

- 内容
- ・小学校PTA親子レクリエーションへの支援
 - ・社会福祉協議会支部子育てサロンへのあそびの支援
 - ・立ち上げた子育てサロンへの継続的な協力
 - ・児童クラブへの遊びの支援やけん玉指導
 - ・金子小学校昔あそびクラブへの支援

区分	回数	参加人数
中央	27	1,860
川東	23	2,046
上部	29	1,193
瀬戸	17	580
合計	96	5,679
28年度	120	7,822
比較	80.0%	72.6%

③いのちの授業（新居浜市協働事業）

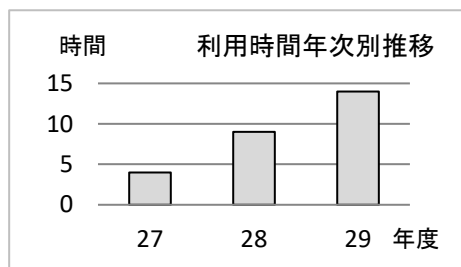
中学3年生に赤ちゃんとその母親とのふれあう機会を提供し、かけがえのない「命」について考えてもらう事業を、地域の関係機関や団体の協力を得て、新居浜市内の中学校2校で実施しました。

開催日時	開催場所	参加人数
6月 22日（木） 10：40～12：30	新居浜市立船木中学校	255
10月13日（金） 10：30～12：30	新居浜市立大生院中学校	234

(3) エンゼルヘルパー派遣事業 （費用は障害者居宅介護等事業に含む） 市委託事業

養育者が産前産後あるいは病气療養が必要な家庭に対してヘルパーを派遣し、家事や育児の支援を行うことにより、当該家庭の生活の安定と子育て負担の軽減を図りました。

回数	時間	サービス費用
12	14	23,900



3 障がい者福祉の充実

(1) 障がい者福祉センター運営事業

30,789 千円

指定管理事業

①障がい者福祉センター運営事業

障がい者（児）に日常生活の場を提供し、機能訓練をはじめ教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションの便宜を総合的に供与し、福祉の増進を図りました。また、障がい者（児）関係団体の活動については、心身障害者（児）団体連合会主催の「福祉のつどい」や「体育大会」への支援を行い、盛会のうちに終えることができました。その他にも、日常的な助言や支援を行うとともに、場所の提供や支援等に取り組みました。

障がい者スポーツについては、カローリング教室の定期的な開催と、大会を開催することで、障がい者にスポーツへの参加の場を提供するとともに、仲間と共に体を動かす楽しさへの支援等に取り組み、「笑顔つなぐえひめ大会」の出場選手を対象に、愛媛県障がい者スポーツ協会の協力を得て、フライングディスクの練習会を行いました。

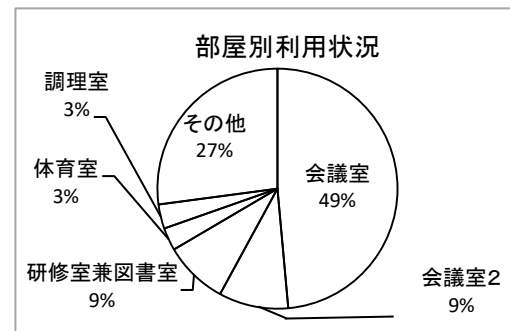
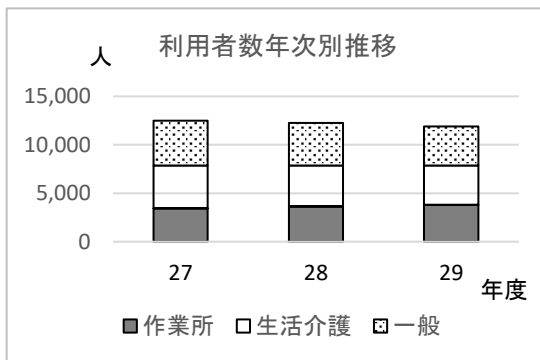
また、地域との防災の連携を考え、隣接する地域交流センターとの合同避難訓練を行ないました。

障がい者福祉センター設立40周年に伴い、記念作品の作成と、記念行事を行いました。

新居浜市障がい者福祉センター利用状況

・開所日数 287日 ・利用団体数 24団体

	作業所	生活介護	一般
利用者数	3,789	4,083	4,032



・福祉用具等貸出業務

車椅子	その他	その他…福祉施設イベント用機器（テント、綿菓子器など）
53	48	

②団体育成

障がい者団体の組織活動を支援し、円滑な会議の運営や行事の開催などを支援しました。

内容	会議・研修会	行事
参加回数	16	3

③相談

センター利用の障がい者（児）の各種相談に応じ、障がい者福祉の増進を図りました。また、相談支援事業所と連携を図り、相談の解決に努めました。

・相談件数

件数	内容
7	視覚障がい者用図書の利用方法、福祉用具の購入方法や修理について、サロン利用相談他

④視覚障がい者対象図書業務

視覚障がい者へ声の市政だよりや朗読テープ・CD・点訳本を貸出して、日頃情報が得られにくい方へ情報を提供しました。また、図書室の整備等、利用しやすい環境整備に努めました。

・貸出実績

種別	テープ・CD図書	点訳図書
冊数	449	47

⑤障がい者福祉センター設立40周年記念行事

障がい者福祉センター設立40周年を記念し、恒例のいもだき会と同時に記念行事を開催しました。新居浜市長他ご来賓の方々からのご祝辞や、関係機関の方々の多数のご参加をいただきました。新居浜在住の芸乃虎や志氏の落語や芸で、訓練生、利用者と楽しく40周年を過ごすことが出来ました。

(2) 障がい者サロン事業

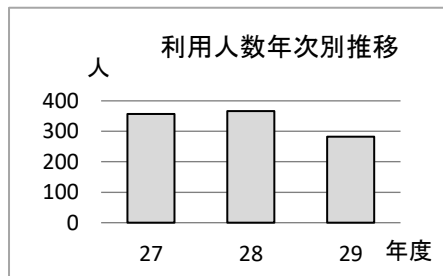
(費用は障がい者福祉センター事業に含む)

独自事業

自宅に閉じこもりがちな障がい者を対象に、毎週水曜日に仲間作りや情報共有などのコミュニケーションの場（レクリエーション、茶話会等）を提供しました。また、活動内容は参加者との話し合いを参考に、参加者主体となるよう内容の充実を図りました。

・開催実績

回数	参加人数
48	282



(3) 身体障害者在宅福祉対策事業

4,605 千円

市委託事業

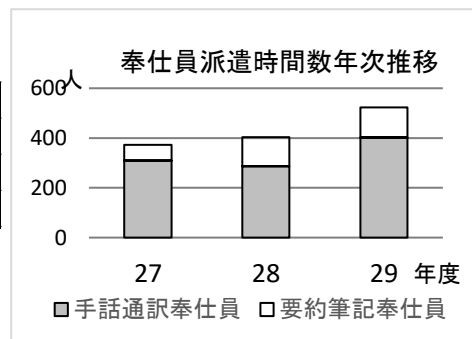
①意思疎通支援事業

意志疎通支援事業の啓発のためのチラシ「困っていませんか？手話通訳者・要約筆記者を派遣します」を800部作成しました。新居浜市地域福祉課、総合福祉センター等に配布し、利用の促進に努めるとともに、聴覚・言語機能等の障がい者への適切な情報を提供しました。また、円滑なコミュニケーションを図るため、手話通訳登録者・要約筆記登録者に対し、定期的に研修会を開催し、通訳者の資質向上に努め、事業の利用促進を図りました。

また、新居浜市聴覚障害者協会主催の登録手話通訳認定試験に新たに1人が合格し、手話通訳者として活動することとなりました。

・意思疎通支援事業実績

区分	手話通訳奉仕員	要約筆記奉仕員
派遣登録者数	30	12
派遣回数	226	43
派遣時間	402	121



・研修等の状況

実施回数	参加人数	内容
8	106	手話通訳技術、医療現場や介護現場の通訳等

※手話通訳登録者30名・要約筆記登録者12名(平成30年3月31日現在)

②生活訓練事業

在宅障がい者の生活支援や、社会参加促進のため、生活に必要な訓練の実施、講座等を開催しました。

実施回数	参加人数	内容
15	191	文芸教室、音声訳ボランティア交流、野外活動、料理教室、生け花教室

③身体障がい者スポーツ教室等開催事業

在宅障がい者の余暇活動の場を作るとともに、ニーズ把握・障がい者スポーツへの啓発活動に取り組みました。

実施回数	参加人数	内容
23	562	水泳5回、バドミントン8回、軽体操5回、カローリング5回

④身体障がい者スポーツ大会開催事業

障がい者スポーツの振興とスポーツへの積極的な参加を促進するため、自分の力を試す場づくり、生きがいをづくりを行いました。

実施回数	参加人数	内容
2	49	バドミントン大会、カローリング大会

⑤リフト付き福祉バス運行事業

在宅障がい者の社会参加促進のため、センター利用者、また障がい者団体等の行事の移動手段として運行しました。

・年間利用状況

運行日数	運行回数	利用者数
243	870	4,809

・団体利用状況（土日利用）

運行回数	参加人数	利用団体	場所
21	80	視覚障がい者団体他3団体	松山市等

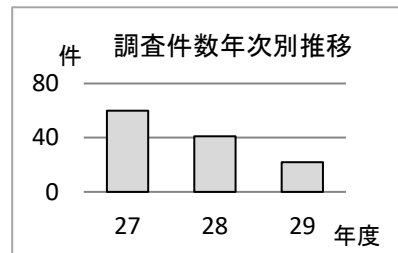
(4) 相談支援事業

13,433 千円

障害福祉サービス事業

障がい者及び介護者等の相談に応じ、一般相談や計画相談等により、情報提供や福祉サービス利用支援等を行い、障がい者の方が望む暮らしや生活環境を整えるため、各関係機関との調整・連携を図りました。また、新居浜市障がい者自立支援協議会事務局会議や相談支援部会への出席等により、職員の資質向上、居住や移動支援など地域福祉に係る社会資源の開発や障がい者虐待や権利擁護などの啓発活動に努めました。

・障害支援区分認定調査件数 22件



・一般相談利用人数（延べ） 930名

支援方法	件数
訪問	269
同行	47
来所	47
電話・メール	129
個別支援会議	26
関係機関他	423
合計	941

支援内容	件数
福祉サービス利用	445
健康・医療に関する支援	225
生活技術に関する支援	172
家計・経済に関する支援	31
不安の解消・情緒安定	5
社会参加他に関する支援	25
権利擁護に関する支援	14
就労、保育、居住、その他	44
合計	961

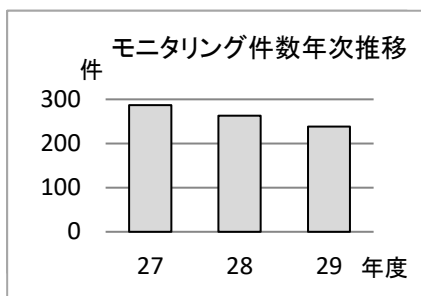
・計画相談等利用状況

障がい者（児）の方が望む生活を送るために、本人が希望し利用する福祉サービス（ヘルパー利用等）を記載したサービス等利用計画書を作成しました。また、サービスが提供された後も定期的にサービス内容を本人及び関係者で話し合うモニタリングを実施しました。支援学校卒業後のサービス調整等、すぐに対応して安心した生活が送れるよう支援しました。

・計画相談契約数 16件

内 訳	件数
身体障がい者	3
知的障がい者	0
知的障がい児	13

モニタリング 238件



(5) 障がい者作業訓練所運営事業 (人件費は指定管理事業に含む) 1,753 千円

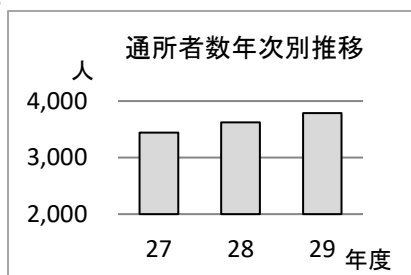
独自事業

通所により自立更生に必要な訓練及び職業的な作業（ウエス、布巾、マット等の自主製品作り）に加えて、企業からの受託作業〔内職〕や行事を通して、社会参加を促進するとともに、就労支援関係機関との連携を図りました。また、社協金子支部との地域交流を行いました。

昨年度に引き続き、障がい者就労支援事業所とともに市役所ロビーで行うウエルフェアバザールに参加して市民への啓発を行いました。

・年間通所状況（実施日数242日）

	男	女	合計
延通所者数	2,355	1,358	3,789



・通所者内訳（平成30年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	最年長	最年少	障がい状況	平均在所年数
男	12	38.6	53	26	知的7、身体3、重複2	13.8
女	7	36.0	54	22	知的5、身体1、重複1	12.85
合計	19	37.7	-	-		13.45

※重複障がいとは、知的、身体の両方の障がいを持つことをいう

・行事实施状況

内訳	回数	参加者数				主な内容
		訓練生	保護者	その他	合計	
野外訓練	3	31	0	11	42	花見、散策、スポーツ大会
社会適応訓練	5	84	0	22	106	買物訓練、いちご狩り他
地域交流事業	1	16	0	30	46	社協支部との交流
黄色いレシートキャンペーン	3	6	0	3	9	イオンモール新居浜
スポーツ（総合福祉センター）	7	79	0	27	106	スイミング、フライングディスク他
研修旅行	1	15	10	6	31	広島方面
定例イベント	1	15	0	6	21	開所記念式（会食）
	2	32	26	31	89	お楽しみ会、いもだき会
	1	17	0	6	23	年度しめくり会（がんばり賞；年間工賃支給）
	6	90	0	26	116	軽体操他
誕生会	8	131	0	39	170	誕生会
その他	38	190	61	115	366	歯科検診（こまどり号）、避難訓練他
合計	76	706	97	322	1,125	

(6) 生活介護・生活訓練事業

37,172 千円

障害福祉サービス事業

①生活介護（介護給付） 生活訓練（訓練等給付） 多機能事業所

利用者（障がい者）の身体状況や介護者の状況及びその置かれている環境に応じて、利用者の自立促進、生活の質の向上等を図るため、日常生活上の介護や訓練及び創作活動の提供等を個別支援計画に沿って実施しました。また、より良いサービスの提供を目標に、職員研修を通じて資質の向上を図りました。

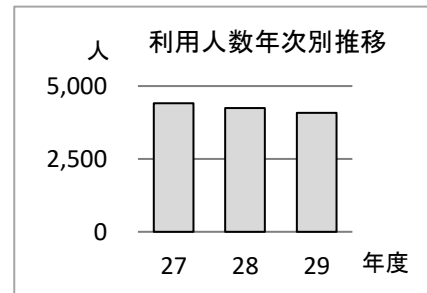
新居浜市と協議した結果、地域の生活介護に対するニーズを踏まえ、来年度から事業を生活介護事業に絞り、より多くの利用者を受け入れるべく、食器類や職員体制の見直しを図りました。

・事業実績

生活介護	開所日数	延利用者数	1日平均	サービス内容			
				基本事業	給食	入浴	送迎
	244	4,083	17	4,083	3,068	2,506	6,911

※基本事業 機能訓練・創作活動・スポーツレク・社会適応訓練

生活訓練	開所日数	利用者数	1日平均	サービス内容			
				基本事業	給食	入浴	送迎
	244						



(生活介護)

・利用者内訳

生活介護は退所者4名、新規契約者3名となりました。相談支援事業所等の関係機関から紹介があり新規契約者を迎えることができました。特別支援学校の卒業生については、1名受け入れることが出来ました。

生活訓練については、訓練期間と対象者が限定されること、また社会参加に向けて就労支援関係事業所等の選択肢が増えている中、新規利用者の契約や相談はありませんでした。

障がいの状況			
性別	男	女	合計
最年長	62才	65才	
最年少	18才	19才	
登録者数	18	17	35
療育A	9	10	19
療育B	0	2	2
身障1級	11	7	18
身障2級	2	4	6
身障3級	1	2	3
身障4級	0	0	0
身障5級	0	0	0
精2	0	1	1
合計	23	26	49
(内重複障がい)	5	9	14

(平成30年3月31日現在)

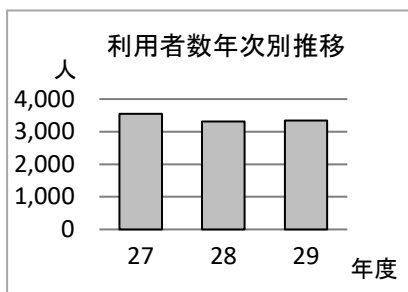
(7) 児童発達支援事業「はげみ園」

38,438 千円 障害福祉サービス事業

利用児に対して、個々の発達特性に応じた専門療育を実施し、日常生活における基本動作の習得、集団生活への適応ができるよう支援しました。利用児の家族が抱えている不安、日常生活上の問題点などに対して、相談に応じ具体的な手段を提案することで、家族支援を行いました。その結果、利用者満足度は、回答率64%、大変満足と満足合わせて100パーセントの結果を得ることができました。

①男女別登録児童数及び延出席状況

項目	児童発達支援利用児	
	登録者数	延出席者数
性別		
男	56	2,654
女	17	688
計	73	3,342
開設日数	243日	



②年齢別障がい状況（平成30年3月31日現在）

障がい	年齢	0～1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計
肢体不自由		1	0	2	0	0	2	5
重症心身障がい		0	1	0	1	0	1	3
知的障がい		2	1	3	3	4	3	16
発達障がい		0	1	1	11	10	11	34
視覚障がい		0	0	0	0	0	1	1
聴覚障がい		0	1	0	0	1	0	2
未診断 ※1		3	0	0	0	0	0	3
未診断 ※2		0	0	1	1	3	4	9
合計		6	4	7	16	18	22	73

※1 発達障がいを除く児童
 ※2 発達障がいの疑いがある児童

③通園参加状況

項目	延回数	児童発達支援利用児参加人数
集団療育（くま組）	225	956
集団療育（ぼんだ組）	184	451
個別療育（くま組）	233	857
個別療育（ぼんだ組）	53	53
理学療法士個別療育	228	537
言語聴覚士個別療育	191	301
温水プール	0	0
出張療育※	4	29
嘱託医診察（1回/月）	12	46
園行事	21	224

※子ども療育センター医師診察（1回/3カ月）

ぼんだ組：運動・知的発達に遅れのみられる幼児
 くま組：対人コミュニケーション発達に偏りのみられる幼児

④相談業務 87件（療育、装具、利用等についての相談）

①居宅介護

障がいがある方に対して身体状況等に応じた利用者本位の計画を作成し、身体介護、家事援助等生活全般にわたる援助を行い、地域生活を支援しました。

②重度訪問介護

重度の肢体不自由又は知的障がい若しくは精神障がいがあり、常時介護を要する方に対して利用者本位の計画を作成し、介護、家事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を行い、在宅生活を支援しました。

③行動援護

知的障がいや精神障がいがあることで行動に困難を有する方に対して利用者本位の計画を作成し、行動する際に生じる危険を回避するための援護等を行い、社会参加と地域生活を支援しました。

④同行援護

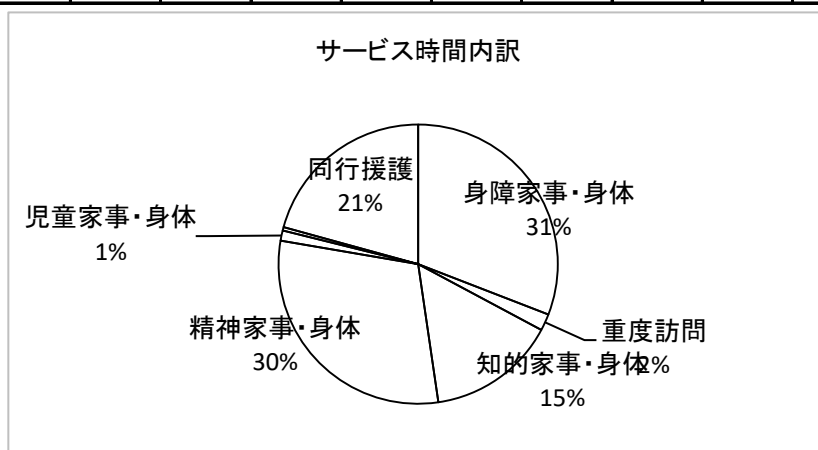
重度の視覚障がいにより移動が困難な方に対して利用者本位の計画を作成し、外出時に同行して移動の援護等を行い、社会参加と地域生活を支援しました。

居宅介護等サービス利用の状況

身体障がい者									
区分	家事・通院			身体・通院			重度訪問		
	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間
29年度	205	1,730	2,144	181	3,234	3,621	12	143	361
28年度	173	1,334	1,622	186	3,139	3,580	12	150	378
比較	118.5%	129.7%	132.2%	97.3%	103.0%	101.1%	100.0%	95.3%	95.5%

知的障がい者							精神障がい者					
区分	家事・通院			身体・通院			家事・通院			身体・通院		
	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間
29年度	159	1,657	2,030	76	1,102	748	420	3,675	4,605	84	970	998
28年度	188	1,943	2,556	78	1,094	664	434	3,850	4,952	57	307	486
比較	84.6%	85.3%	79.4%	97.4%	100.7%	112.7%	96.8%	95.5%	93.0%	147.4%	316.0%	205.3%

児童（障がい児）							行動援護			同行援護		
区分	家事・通院			身体・通院			人数	回数	時間	人数	回数	時間
	人数	回数	時間	人数	回数	時間						
29年度	11	46	69	10	76	152	24	100	74	206	1,098	3,870
28年度	11	36	54	11	81	158	13	51	28	233	1,299	4,503
比較	100.0%	127.8%	129.0%	90.9%	93.8%	96.2%	184.6%	196.1%	264.3%	88.4%	84.5%	85.9%

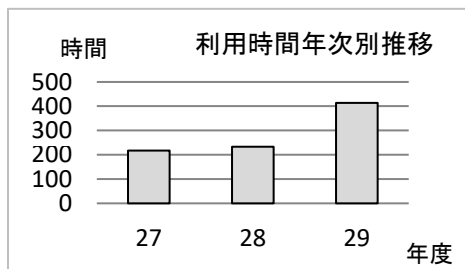


(9) 障がい者等移動支援事業 (費用は障害者居宅介護等事業に含む)

市委託事業

屋外での移動が困難な障がいのある方に対して外出のための支援を行い、地域生活と社会参加を支援しました。

回数	時間	サービス費用
355	414	971,050



4 高齢者福祉の充実

(1) 独居高齢者見守り推進事業

475 千円

市委託事業

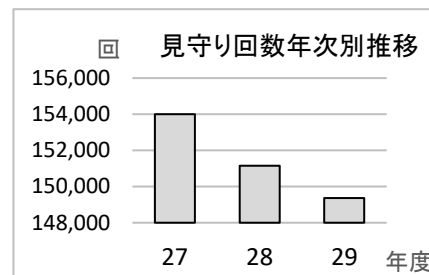
在宅の独居高齢者が安心して生活ができるよう、各地域に見守り推進員を配置し、民生児童委員をはじめ地域関係者の参加・協力を得て安否確認等の活動を行いました。平成29年度は任期満了に伴う一斉改選の年であったため、見守り体制の充実を図り、適正な担当数に近づけるように努めましたが、後任者が若干不足している状態であるため、引き続き適正に活動できるよう協議・支援を行います。

見守り対象者に関する情報共有や新規対象者の調査等について、民生委員と見守り推進員と社協支部の三者の連携を図られるよう、見守り連絡会や支部の諸会議等に積極的に参加して連携強化の支援を行いました。

また、平成29年度も見守り推進事業全体研修会を開催し、見守り推進員の役割をはじめ、活動中の対応や問題発生時の対応などについて事例等を挙げながら共通認識を持つように努めるとともに、見守り推進員新任者研修も実施いたしました。

・見守り状況 平成29年4月1日現在

支部数	見守り推進員	見守り対象者
18	283	3,216



・見守り推進員全体研修会

日時 平成29年7月12日（水）
場所 新居浜市総合福祉センター 多目的アリーナ
内容 運用基準、活動報告書の記入方法、Q&A、活動事例特記事項について
講話「認知症の基本理解と対応」県在宅介護研修センター 森川隆氏
参加者 見守り推進員、支部関係者、民生児童委員 計199人

・見守り推進員新任者研修会

日時 平成29年10月10日（火）
場所 新居浜市総合福祉センター 第1研修室
内容 委嘱状の伝達、運用基準、活動報告書の記入方法、Q&Aについて
参加者 見守り推進員、支部関係者 計37人

(2) 高齢者福祉センター運営事業

58,382 千円

指定管理事業

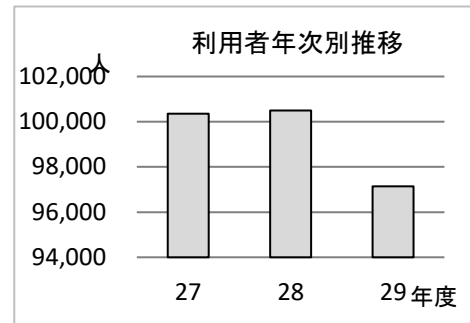
高齢者が住み慣れた地域で、安心して笑顔で暮らせる健康長寿のまちづくりを実現するため、高齢者の相談支援、生きがいつくり、仲間づくり、健康づくりを行う拠点として、高齢者の福祉の増進を図りました。

①高齢者福祉センターの管理運営

利用者が心地よく利用できるように、設備備品を交換改善し、利用者とともにセンターの掃除、草木の剪定、植替えを行う等の環境美化を行いました。利用者数が漸次減少していることに対し、各種団体にアンケート等を実施して、職員間や法人内、また行政と協議して原因を考察して、今後の業務改善を行うきっかけを作りました。

・利用状況

区分	男	女	その他	合計
上部	15,364	25,254	481	41,099
川東	12,234	16,766	338	29,338
川西	13,202	13,300	207	26,709
合計	40,800	55,320	1,026	97,146
28年度	42,277	58,226	0	100,503
比較	96.5%	95.0%	-	96.7%



・安心安全な運営

区分	回数	摘要
防災訓練	6	各センター一年2回実施
交通安全教室	3	各センター一年1回実施

②健康、生活等の相談

高齢者が健全で明るい生活が送れるように、健康相談、体組成測定を実施し、助言により健康への意識を高めました。気になる利用者にはケース会議を開き、包括支援センター、民生委員、見守り推進員等と連携し、他のサービスに繋げました。

・健康相談

区分	回数	人数
上部	332	3,346
川東	293	2,423
川西	327	3,002
合計	952	8,771
28年度	1,024	9,904
比較	93.0%	88.6%

・体組成測定

区分	回数	人数
上部	18	211
川東	30	489
川西	36	578
合計	84	1,278
28年度	87	1,386
比較	96.6%	92.2%

*体組成測定では、体重・体脂肪率・筋肉量・基礎代謝量・内臓脂肪レベル・推定骨量を測定し、図式化してわかりやすくしました。

③教養講座、レクリエーション

高齢者が生きがいをもって暮らせるように、各種教養講座、レクリエーションを行いました。また、各センターで利用者ニーズを考察し、独自事業も行いました。

区分	回数	人数	内容
上部	106	2,023	季節行事・・・文化祭、盆踊り大会、四季野外活動、
川東	167	2,116	教養講座・・・防災講習会、交通安全教室、自主避難訓練
川西	110	1,731	手話講座、健康に関する講座、認知症予防講座
合同	5	412	三味線演奏、大正琴演奏、マンドリン演奏他
合計	388	6,282	その他・・・各センター独自事業、地域交流事業
28年度	433	7,299	合同行事・・・三センター合同大会（カラオケ、クリスマス、踊り）
比較	89.6%	86.1%	

・ミニデイサービス事業

在宅で過ごす高齢者に対し、様々な余暇活動を提供して、孤独感の解消や、自立した生活の支援、健康の維持向上に取り組みました。

開催回数	月1回
送迎	地域福祉バス
時間帯	午前9時30分～午後2時30分
内容	健康チェック、レクリエーション、創作活動等

区分	回数	参加者数
上部	12	406
川東	12	240
川西	12	148
合計	36	794
28年度	36	839
比較	100.0%	94.6%

④趣味グループの育成指導

・サークル活動の状況

誰もが気軽に参加し、生きがいを持って楽しく過ごせるように、サークルの育成と支援を行いました。センターだよりにサークル活動の紹介の掲載などを行うとともに、他機関にサークルを紹介し、新規サークルを受入れました。

区分	サークル数	会員数	実施回数
上部	15	291	1,533
川東	11	107	680
川西	12	143	817
合計	38	541	3,030
28年度	37	585	3,200
比較	102.7%	92.5%	94.7%

⑤健康増進業務

高齢者を対象に各種健康教室・体操・講座等を開催し、介護予防や健康の維持・増進を図りました。また、介護事業課との連携により介護相談事業を新たに行いました。

・ふれあい健康教室

公園や施設などに出向いて、日常と違う環境で見学や散策、食事を行うことで、心身のリフレッシュを図り、利用者同士の交流を行いました。

区分	回数	参加者数
上部	2	51
川東	2	44
川西	2	52
合計	6	147
28年度	6	146
比較	100.0%	100.7%

・（社協）介護相談

利用者本人や家族が抱える介護の問題を解決するために、適切なサービスが利用できるように、介護支援専門員の相談を毎月実施しました。

区分	回数
上部	8
川東	8
川西	8
合計	24
28年度	0
比較	—

・健康教室・健康講座・健康体操

高齢者が健康で明るい生活を送れるよう、健康体操や健康教室を実施しました。また、外部講師による健康講座を開催しました。

区分	事業名	回数	参加者数
上部	健康教室	3	20
	健康講座	2	84
	健康体操	724	16,716
川東	健康教室	4	55
	健康講座	2	53
	健康体操	758	11,866
川西	健康教室	4	55
	健康講座	2	43
	健康体操	597	10,335
合計		2,096	39,227
28年度		2,108	40,283
比較		99.4%	97.4%

⑥老人クラブとの連携

老人クラブ連合会へのセンターだよりの配布やアンケート調査により、団体に詳しく紹介しました。

⑦地域、行政、その他関係機関との連携

高齢者が住みなれた地域で、安心して笑顔で暮らせる仕組みづくりを行うため、地域、行政、その他関係機関と連携しました。

区分	回数
地域ケア会議等への参加	3
支部連絡協議会への参加	8
サロン等への協力	18
包括支援センター等との連携	39
認知症サポート養成講座の開催	1
すみのSOSネットワーク協議会への参加	12

・サロン指導者講習会の開催

区分	回数	男	女	合計
上部	1	7	32	39
川東	1	7	37	44
川西	1	8	33	41
合計	3	22	102	124
28年度	3	20	96	116
比較	100.0%	110.0%	106.3%	106.9%

(3) 居宅介護支援事業

58,539 千円

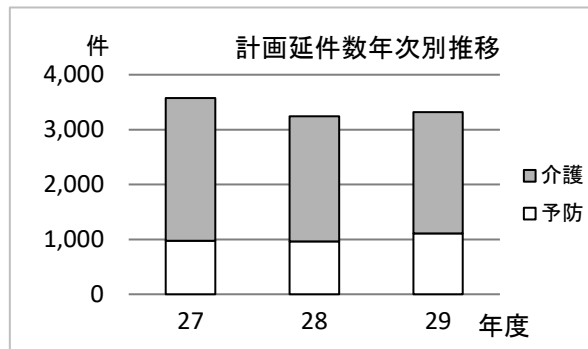
介護保険事業

要支援等又は要介護状態にある高齢者等に対して介護支援専門員が居宅介護支援計画（ケアプラン）を作成し、適切なサービスを受けられるように在宅生活の支援を行いました。

また、市から要介護認定訪問調査の依頼を受け、要介護認定申請者の自宅等を訪問し調査を行いました。

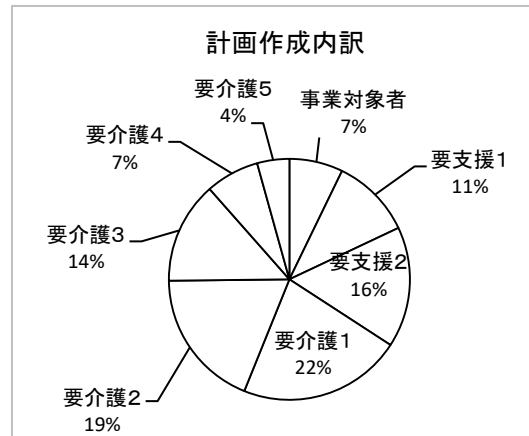
・介護予防支援計画作成の状況、居宅サービス計画作成の状況

介護予防支援		居宅サービス	
件数	月平均件数	件数	月平均件数
1,107	92	2,212	184



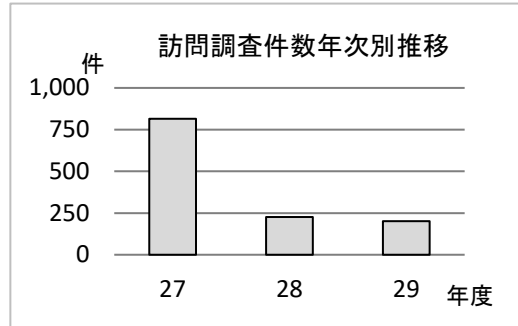
・要介護度別居宅サービス計画作成の状況（平成30年3月31日現在）

介護度	件数
事業対象者	20
要支援1	30
要支援2	45
小計	95
要介護1	61
要介護2	52
要介護3	38
要介護4	20
要介護5	12
小計	183
総計	278



・要介護認定訪問調査の状況

延件数	月平均件数
202	16.8



(4) 訪問介護事業

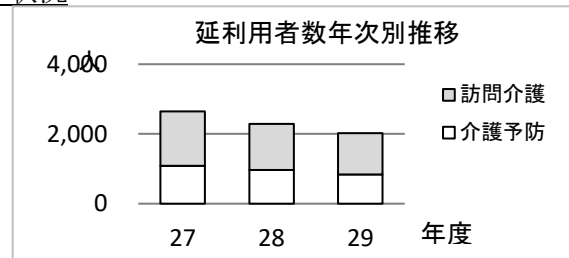
86,862 千円 (在宅サポート事業除く)

介護保険事業

要支援等又は要介護状態にある高齢者等に対してニーズに沿った計画書を作成し、身体介護や生活援助等のサービスを提供することで在宅生活の質の向上を図りました。

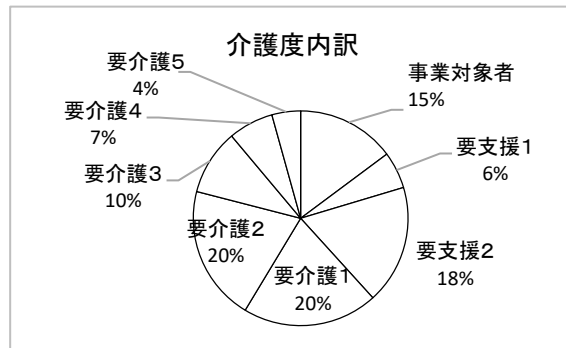
・訪問型サービス、訪問介護サービス利用者の状況

訪問型サービス		訪問介護	
延利用者数	月平均件数	延利用者数	月平均件数
837	70	1,181	98



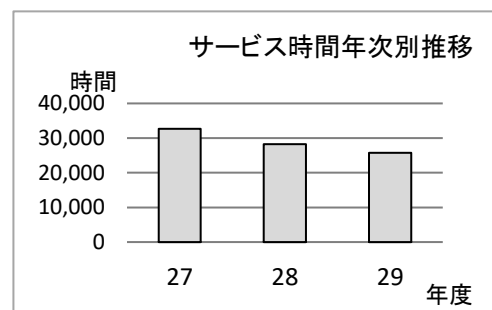
・介護度別利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

介護度	利用件数
事業対象者	24
要支援1	9
要支援2	29
要介護1	33
要介護2	33
要介護3	16
要介護4	11
要介護5	7
合計	162



・サービス内容の状況

サービス内容	提供時間	提供回数
訪問型	4,969	5,395
生活援助	8,262	8,675
身体介護	2,837	3,890
身体生活	9,649	7,536
合計	25,717	25,496



・在宅サポート事業（介護保険適用外サービス）

通院時の介助等、介護保険制度対象外となる援助について、事業所と利用契約を締結している方を対象にニーズに応じたサービスを提供しました。

利用人数	回数	サービス費用
134	242	564,800

・介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修の協力

愛媛県社会福祉協議会と協力し、介護職員初任者研修を実施しました。また、他事業所が開催する同研修及び介護福祉士実務者研修に講師として職員を派遣しました。

介護現場においては、訪問介護利用者のお宅での同行訪問実習やなごみの里における介護実習を行い、介護職員の人材育成に協力しました。

講師派遣等の状況

実施機関の名称	講義演習		介護実習	
	派遣時間	派遣職員数	人数	回数
愛媛県社会福祉協議会	93.0	27	7	7
(株)ビーイング	77.0	14	-	-
シルバー人材センター	37.0	10	13	13
愛媛県立新居浜南高等学校	-	-	9	9
合計	207.0	51	29	29
28年度	49.5	26	7	7
比較	418.2%	196.2%	414.3%	414.3%

(5) 認知症対応型通所介護事業

77,358 千円

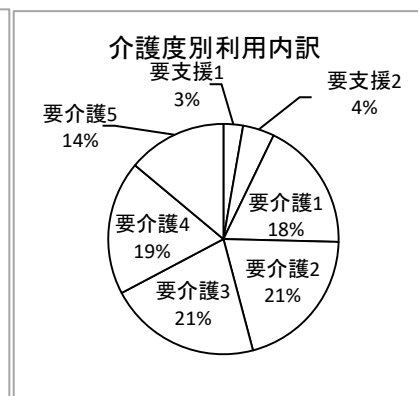
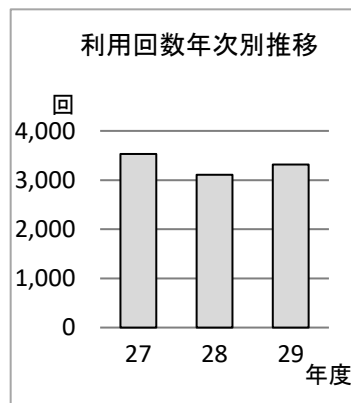
介護保険事業

職員のための外部研修を積極的に取り入れることでサービスの質の向上を図りながら、認知症の方が可能な限り居家で日常生活が送れるよう、入浴、食事等の介護や機能訓練などを行うとともに、利用者家族の身体的負担の軽減を図りました。

・介護度別利用回数の状況

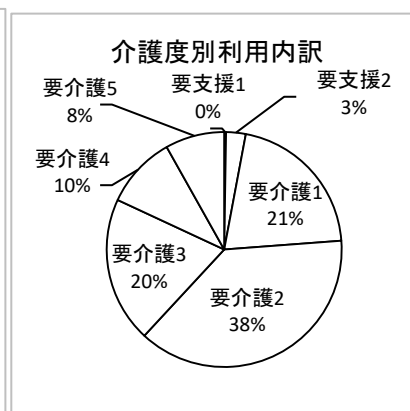
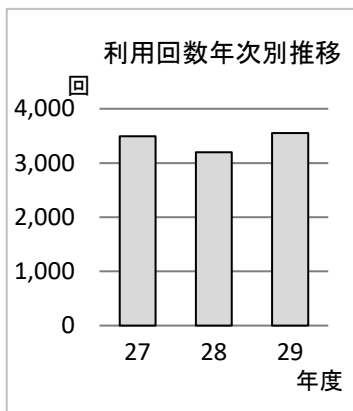
なごみの里「金栄」

介護度	男	女	合計
要支援1	0	91	91
要支援2	0	147	147
要介護1	281	323	604
要介護2	97	582	679
要介護3	219	490	709
要介護4	69	555	624
要介護5	235	227	462
合計	901	2,415	3,316
	開所日数	平均利用者数	
	308	10.8	



なごみの里「金子」

介護度	男	女	合計
要支援1	0	9	9
要支援2	96	0	96
要介護1	330	411	741
要介護2	469	884	1,353
要介護3	225	487	712
要介護4	167	186	353
要介護5	241	48	289
合計	1,528	2,025	3,553
	開所日数	平均利用者数	
	308	11.5	



(6) 訪問介護事業所職員連絡会運営事業

独自事業

市内訪問介護事業所の職員相互間の連携を図るとともに、介護職員の資質向上に必要な研修等を行い、在宅福祉の向上を図りました。

回数	参加人数	研修内容
4	647	「防災講習会」、「認知症について」、「生活モデルのターミナルケア」、「応急処置法・緊急時の電話対応について」

5 ボランティア活動の充実

(1) 福祉ボランティア推進事業

2,489 千円

独自事業

① ボランティア・市民活動センター運営

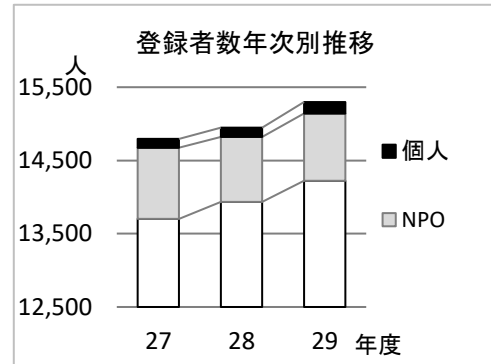
中間支援組織として、いつでもだれでも参加できるボランティア活動の拠点づくりを推進しました。ボランティアへの学生の参画を目指し、「ボランティア・チャレンジinにいほま事業」を行いました。また、新居浜市北中学校と共同で「福祉学習モデル事業」を実施し、学校・地域がにつながる福祉教育の実践を行い、福祉意識の育成を図りました。

新居浜市まちづくり協働オフィスや、新居浜市生涯学習センターなど関係機関と連携して中間支援組織の情報共有を図るとともに、イベントなどでボランティア・市民活動センターのパンフレットや広報紙の配布、講座紹介の実施など、広報活動を行いました。

・ ボランティア登録数（平成29年3月31日現在）

区分	団体数	人数
ボランティア・市民活動団体	200	14,223
NPO法人	16	919
個人		156
合計	216	15,298

※ボランティア・市民活動団体のうちボランティア連絡協議会加入団体 22団体2,361人



・ ボランティア・市民活動の斡旋

学校への講師派遣や、施設・ボランティア団体・NPO法人などの活動紹介を行うなど、各種団体と連携し、活動場所の提供を行いました。また、希望に合ったボランティア活動の実現のため、活動先の新規開拓、調整を行いました。ボランティア個人・団体のニーズを丁寧に調査し、希望の活動を実践できるよう登録団体及び個人に対し、コーディネートを行いました。相談に対し、積極的に提案を行い、本人の自己実現が図れるよう支援しました。

実績件数

240 件

② ボランティア・市民活動に関する相談、援助、指導

ボランティアに関する各種の相談に対して、ニーズを把握し、ボランティア活動を効果的にマッチングしました。また、問題に対し、柔軟に相談・援助を行いました。ボランティア活動について調査し、ボランティアについての情報提供や、各種ボランティア講座の案内を行いました。

・ 来所、電話、メール等による相談、援助、指導

助成金の申請、ボランティア登録、イベント、災害ボランティア活動、シルバーボランティア制度を紹介するなど、ボランティアに関する相談を積極的に受け、支援を行いました。また、ボランティアの紹介だけではなく、内容を的確に判断して必要な専門機関につなぐなど、より良い援助の提案や調整を行いました。

実績件数

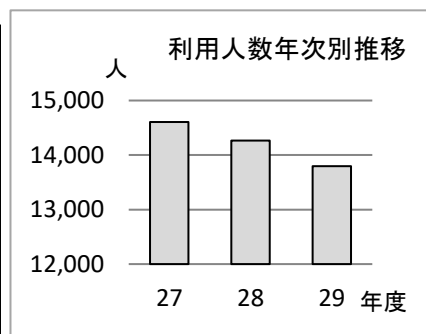
350 件

・ボランティア・市民活動に関する活動場所の提供

ボランティア団体に予約制により活動場所等を提供し、ボランティア活動の基盤整備を行いました。

ボランティア・市民活動センター利用状況

活動場所（室名）	件数	人数
録音編集室	275	976
点字ワープロ室	121	1,017
作業室（前室）	253	2,011
作業室（和室）	176	1,483
福祉団体室	600	4,038
ボランティア研修室	512	4,003
ミーティングルーム	56	265
合計	1,993	13,793



・ボランティア保険加入事務

安全、安心にボランティア活動ができるよう、保険の周知に努めるとともに1年を通して受付を行いました。また、事故が起こった際には、内容を確認し、補償の手続きを円滑に行いました。

内容	件数	人数
ボランティア活動保険	169	2,880
ボランティア行事用保険	213	11,965
その他保険	17	6,588
合計	399	21,433
28年度		13,110
比較		163.5%

※事故件数14件

③ボランティア・市民活動に関する研修

・技術ボランティア養成講座（在宅福祉対策事業奉仕員養成研修事業）

地域における在宅障がい者に対する支援を円滑に行い、自立や社会参加を促すために必要な技術（手話・音訳・要約筆記・点訳）を有したボランティアを養成しました。講座修了者には、ボランティア団体への加入を促進しました。

技術ボランティア養成講座実施状況

講座名			回数	受講者数	延人数	修了者数	
入門講座	4 ～ 9月	手話	昼	18	11	146	7
			夜	18	10	146	6
		要約筆記		15	1	15	1
		音訳		15	3	29	2
		点訳		10	4	40	4
基礎講座	7 ～ 3月	手話	昼	22	7	149	7
			夜	22	7	94	3
		要約筆記		15	3	27	1
		音訳		15	3	42	3
		点訳		20	4	79	4
合計			170	53	767	38	
28年度			170	86	1,168	62	
比較					65.7%	61.3%	

・ボランティアの育成

各種ボランティア養成講座を開講し、効果的なボランティアの育成を行いました。ボランティア入門講座ではバルーンアートを取り入れるなど、趣味を生かせるボランティア活動の提案を行いました。

講座名	回数	延受講者数
朗読技術ボランティア養成講座初級	15	187
朗読技術ボランティア養成講座中級	10	64
精神保健ボランティア講座	5	70
傾聴ボランティア講座初級	6	117
傾聴ボランティア講座中級	5	40
「夏バテ解消!」健康料理教室	1	26
防災ボランティア講座	1	12
ボランティア入門講座 (福祉教育サポーター講座を含む)	5	46
合 計	48	562
28年度	52	671
比 較	92.3%	83.8%

④ボランティア・市民活動に関する福祉活動資材の整備、貸与
貸与資材

種 別	資材名	貸出個数
福祉用具	高齢者疑似体験セット 他	77
高齢者用レクリエーション器具	スロープボウリング 他	16
その他	OHPスクリーン 他	7
合 計		100

⑤ボランティア・市民活動に関する連絡調整

ボランティア関係機関と連絡を密にし、それぞれの希望に応じたボランティア活動の実践ができるよう調整しました。また平成29年度から学生のボランティア活動の場の提供の一環として、「ボランティア・チャレンジinにはま」を製作し、全中学校・高等学校に配布し、21名の生徒が7月から12月に活動しました。学生ボランティア活動先と連絡を取り、学生が安心して活動できるよう情報提供や調整を行いました。

- ・新居浜市ボランティア連絡協議会定例会への出席（年12回）
- ・「ボランティア・チャレンジinにはま」の製作、活動場所の提供・開拓、連絡調整
- ・学び舎えひめ悠々大学への協力
- ・ボランティア・市民活動の連絡調整、イベントの参画と協力
- ・まちづくり協働オフィスにない手会議（年14回）
- ・ハートピックinにはま実行委員会（年3回）
- ・工業高校生による立川地区清掃ボランティアへの協力

⑥福祉教育の推進及び生涯福祉学習の支援

・福祉教育の推進

福祉協力校ボランティア活動推進

福祉協力校活動事業費として、33校に対し、1校につき25,000円の助成を行い、児童、生徒のボランティア活動を推進しました。

福祉協力校活動状況（単位：校）

区分	地域交流活動	訪問活動	収集活動	募金活動	環境活動
小学校（全17校）	15	10	12	17	17
中学校（全11校）	8	6	11	7	11
高等学校（全5校）	5	4	0	1	3

・生涯福祉学習の支援

公的機関の福祉研修を支援しました。

企業名	内容	回数	延べ人数
新居浜市役所	新人研修（車いす体験）	1	25

・総合的な学習への協力

市内の各学校の依頼に応じて、総合的な学習の支援を行いました。「福祉学習ガイドブック」に基づき、交流体験を積極的に取り入れるなど、学校と連携し、体験だけに終わらない福祉学習の推進に努めました。

総合的な学習の実施状況

内 容	学 校	回 数	延べ人数
高齢者疑似体験	南高等学校他 7校	10	535
車椅子体験	角野小学校他 5校	12	311
アイマスク体験	金栄小学校他 5校	4	185
交流体験	金子小学校他 8校	11	651
合 計		37	1,682

・福祉学習プログラムモデル事業

平成29年度は新居浜市北中学校（福祉コース選択生徒21名）と共同で、愛媛県社会福祉協議会の「福祉学習プログラムモデル事業」を実施し、学校・地域とつながる福祉教育の推進を目指し、新たな福祉教育のプログラム開発及び実践を行いました。新居浜市内の専門職や地域住民の協力を得て、「高齢者・障がい・子育て」の3分野について学習後、実際に当事者とのふれ合いました。

この体験から人・地域への親しみが生まれ、生徒からの提案により、学習成果の発表と感謝の気持ちを伝えるため「ありがとう会」を開催しました。「ありがとう会」には自治会役員や民生児童委員を始め、地域のために活躍されている方が42名参加しました。

12月に開催された愛媛県社会福祉協議会主催の福祉学習推進研修会では「ESD支援事業と福祉学習の連携」と題して新居浜市北中学校の先生、生徒3名と福祉学習での取り組みの成果を発表しました。

・ワークキャンプの開催

児童・生徒の福祉への理解を目的に市内の中・高生を対象に、市内の福祉施設等において介護や介助等の体験学習を実施しました。ワークキャンプ初日には、福祉施設の職員から高齢者との接し方など、施設での体験学習に対する心構えについて指導を受けました。また、CATVなどでの広報や、体験の作文集を社会福祉大会の中で配布することにより、ワークキャンプの内容や意義などについて周知を図りました。

開催日 平成29年8月1日～3日（2泊3日）

参加者内訳

体験施設	施設数	中学生（学年）			高校生（学年）			計
		1	2	3	1	2	3	
特別養護老人ホーム	7	6	3	9	3	2	0	23
介護老人保健施設	4	2	3	4	1	1	0	11
障がい者支援施設	2	0	3	3	0	0	2	8
その他	18	5	14	8	5	0	4	36
合 計	31	13	23	24	9	3	6	78

※内男子15人

⑦その他

・住民参加イベントの実施「ボランティアフェスティバル」

総合福祉センターにおいて、生き生き幸せフェスティバルに合わせて開催しています。平成29年度は、えひめ国体の関係から、事前アンケートにより11月下旬の開催となりました。ボランティア団体の活動内容を一般の多くの方に発信できるイベントであり、体験等を通して多くの来場者に活動をPRすることができました。

・収集活動

使用済切手、プルタブ、書き損じハガキの収集を行い、空飛ぶ車椅子を応援する会等に送り、ワクチンの購入や団体の運営費として活用されました。

収集活動実施状況

収集物	送付先	収集実績
未使用・書き損じハガキ	空飛ぶ車いすを応援する会	368枚
	愛媛県視覚障害者協会	347枚
使用済み切手	誕生日ありがとう運動本部	3,5kg
	緑の地球防衛基金	4,6kg
アルミ缶・プルタブ	石鎚みすゞコスモスへ	174.5kg

- ・センター支援ボランティア活動（上記収集物の仕分等）
収集ボランティア活動（毎月1回） 延べ77人

(2) 災害ボランティアセンター設置運営事業

独自事業

①平成29年度 台風18号水害における「災害ボランティアセンター」の開設、運営

平成29年9月の台風18号による浸水被害を受けて、災害復旧のため「災害ボランティアセンター」を立ち上げ活動しました。

災害ボランティアの派遣・受付窓口として、「いんぷお新居浜」、CATV、facebookなどで広報し、依頼、問合せに対応して、ニーズ調査、ボランティアの確保、活動場所の連絡調整、資材の確保などを行い、被害のあった地元自治会と連携して復旧支援活動を実施しました。

- ・活動期間 9月21日～10月6日（16日間）
- ・ニーズ対応 22件
- ・活動延人数 160人

②災害ボランティアの登録・情報提供

近年、日本各地で発生する災害への支援として、災害ボランティアの登録受付を行いました。災害ボランティアについての情報はメール等により登録者に送付しています。平成29年度の台風18号による「災害ボランティアセンター」設置時には個人登録ボランティアに情報発信し、協力を得ることにより、スムーズな活動を行うことができました。

管理施設においては共同募金の配分金によるものと、各施設の費用により、備蓄品（食料品、飲料水等）を整備し、帰宅困難者や避難者に対応できるように準備しました。

災害ボランティア登録者 133人（男 95人、女 38人） 平成30年3月31日現在

6 社会福祉協議会の適正な運営の推進

(1) 組織体制の整備・強化

独自事業

①理事会・評議員会

経営責任を担う理事会や、議決機関としての評議員会の開催を推進するとともに、現況報告書や計算書類等の開示を進めるなど、法人運営の透明化を図りました。

理事会

回	開催日	出席者	議案
1	6月1日	12	第 1 号 平成28年度事業報告について 第 2 号 平成28年度収支決算について 第 3 号 平成29年度補正予算（第1号）について 第 4 号 役員候補者の選任について 第 5 号 評議員候補者の推薦について 第 6 号 役員の報酬等に関する規程の制定について 第 7 号 平成29年度第1回評議員会の招集について
2	6月21日	11	第 8 号 会長の選任について 第 9 号 副会長の選任について 第 10 号 常務理事の選任について
3	9月21日	11	第 11 号 経理規程の一部を改正する規程の制定について 第 12 号 育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 第 13 号 個人情報保護規程の一部を改正する規程の制定について 第 14 号 特定個人情報取扱規程の一部を改正する規程の制定について 第 15 号 平成29年度補正予算（第2号）について 第 16 号 平成29年度第2回評議員会の招集について
4	12月15日	12	第 17 号 職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 第 18 号 再雇用職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 第 19 号 監事監査規程の一部を改正する規程の制定について 第 20 号 平成29年度補正予算（第3号）について 第 21 号 平成29年度第3回評議員会の招集について

5	3月16日	10	第 22 号	新居浜市障がい者福祉センター生活介護・生活訓練事業所の生活訓練事業の廃止及び生活介護事業の定員変更、並びに名称の変更について
			第 23 号	役員の報酬に関する規程の一部を改正する規程の制定について
			第 24 号	評議員の費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
			第 25 号	就業規則の一部を改正する規則の制定について
			第 26 号	嘱託職員及び非常勤嘱託職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
			第 27 号	嘱託職員及び非常勤嘱託職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
			第 28 号	再雇用嘱託職員及び再雇用非常勤嘱託職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
			第 29 号	処務規程の一部を改正する規程の制定について
			第 30 号	経理規程の一部を改正する規程の制定について
			第 31 号	平成 30 年度事業計画について
			第 32 号	平成 30 年度予算について
6	3月28日	13	第 33 号	平成 29 年度補正予算（第 4 号）について
			第 34 号	第三者委員の選考について
			第 35 号	平成 29 年度第 4 回評議員会の招集について
			第 36 号	理事候補者の推薦について
			第 37 号	会長の選任について

評議員会

回	開催日	出席者	議案	
1	6月21日	30	第 1 号	平成 28 年度事業報告について
			第 2 号	平成 28 年度収支決算について
			第 3 号	平成 29 年度補正予算（第 1 号）について
			第 4 号	役員の選任について
			第 5 号	役員の報酬等に関する規程の制定について
2	9月29日	25	第 6 号	平成 29 年度補正予算（第 2 号）について
3	12月25日	27	第 7 号	平成 29 年度補正予算（第 3 号）について
4	3月27日	32	第 8 号	役員の報酬に関する規程の一部を改正する規程の制定について
			第 9 号	評議員の費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について
			第 10 号	平成 30 年度事業計画について
			第 11 号	平成 30 年度予算について
			第 12 号	平成 29 年度補正予算（第 4 号）について
			第 13 号	理事の選任について

監事監査

開催日	出席者	内容
5月19日	3	平成28年度事業及び決算について

②事務局運営

社協全体で、「働き方」や「生産性」を考える中で、業務改善のための職場ミーティングを実施し、職員が生き生きと働ける職場づくりに向けた取組を行いました。第三次新居浜市地域福祉活動計画（平成28年度～平成32年度）の進捗管理と評価のための体制を構築していくことが、次年度の課題となりました。

③人事労務管理

職員の労働時間や休暇について適切な管理を行いながら、事務効率の改善をはかるために勤怠管理システムの導入・運用を開始しました。また、柔軟な働き方や無期労働契約に対応した規程の整備を行いました。

④教育訓練

インターネット利用を利用する職員を対象に、ウイルス感染防止のセキュリティ研修を行いました。職員の資格取得支援や資質向上のための職員研修についての体系化、規程の見直しや法人としての取り組みについて、共通認識を深めることが次年度の課題となりました。

(2) 財源の安定化

独自事業

①財務管理

給与改定等に伴い、収支の見直しを行いました。また、指定管理事業に係る事務費は法人本部事業に繰り入れました。介護保険事業等自主事業部門については収支状況を毎月報告し、事業の特性や財務の安定化のための方向性の統一について認識の共有を図りました。

②会計管理

経理規程及び監事監査規程に則り会計処理を行い、平成28年度決算については、社協ホームページ上に決算書を公開することにより、会計の透明性をより高めることができました。

③経理事務

専門家による毎月の任意監査の実施等により、日々の事務処理や金銭管理についての管理体制の強化を図ることができました。また、システムでの情報共有やインターネットバンキングの導入により業務の効率化を図ることができました。

(3) 新居浜市社会福祉法人地域公益活動連絡会運営事業

連絡会に加入する市内社会福祉法人、社協支部の活動に着目し、社協支部と社会福祉法人等が連携し、具体的に取り組む「地域食堂」の事例発表（情報発信）の場とするとともに「地域における公益的な取組」に向けて、最新情報等についての学び（情報共有）を行いました。